



写真1

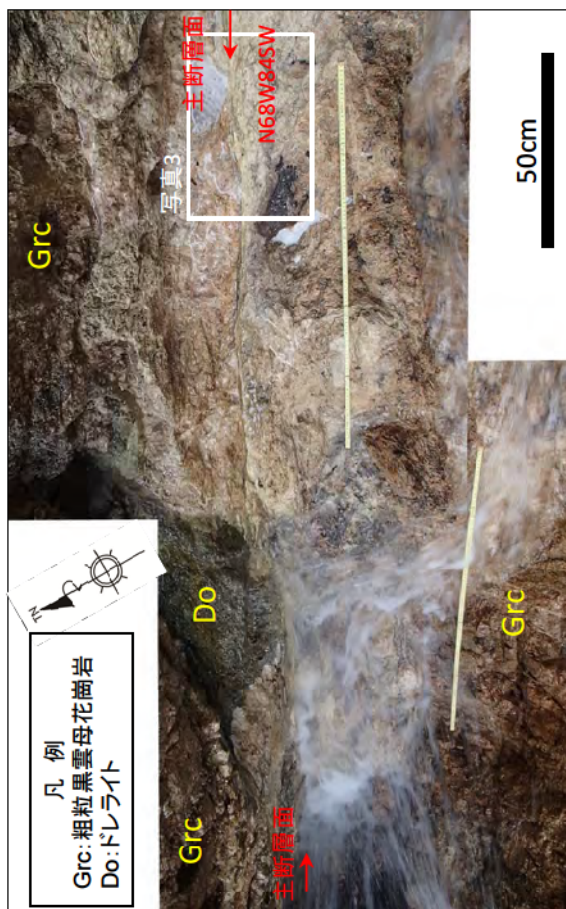


写真2

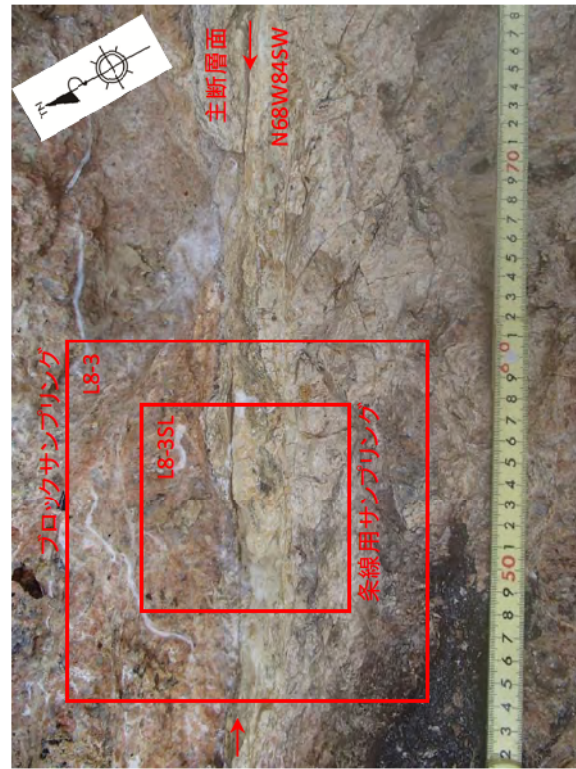
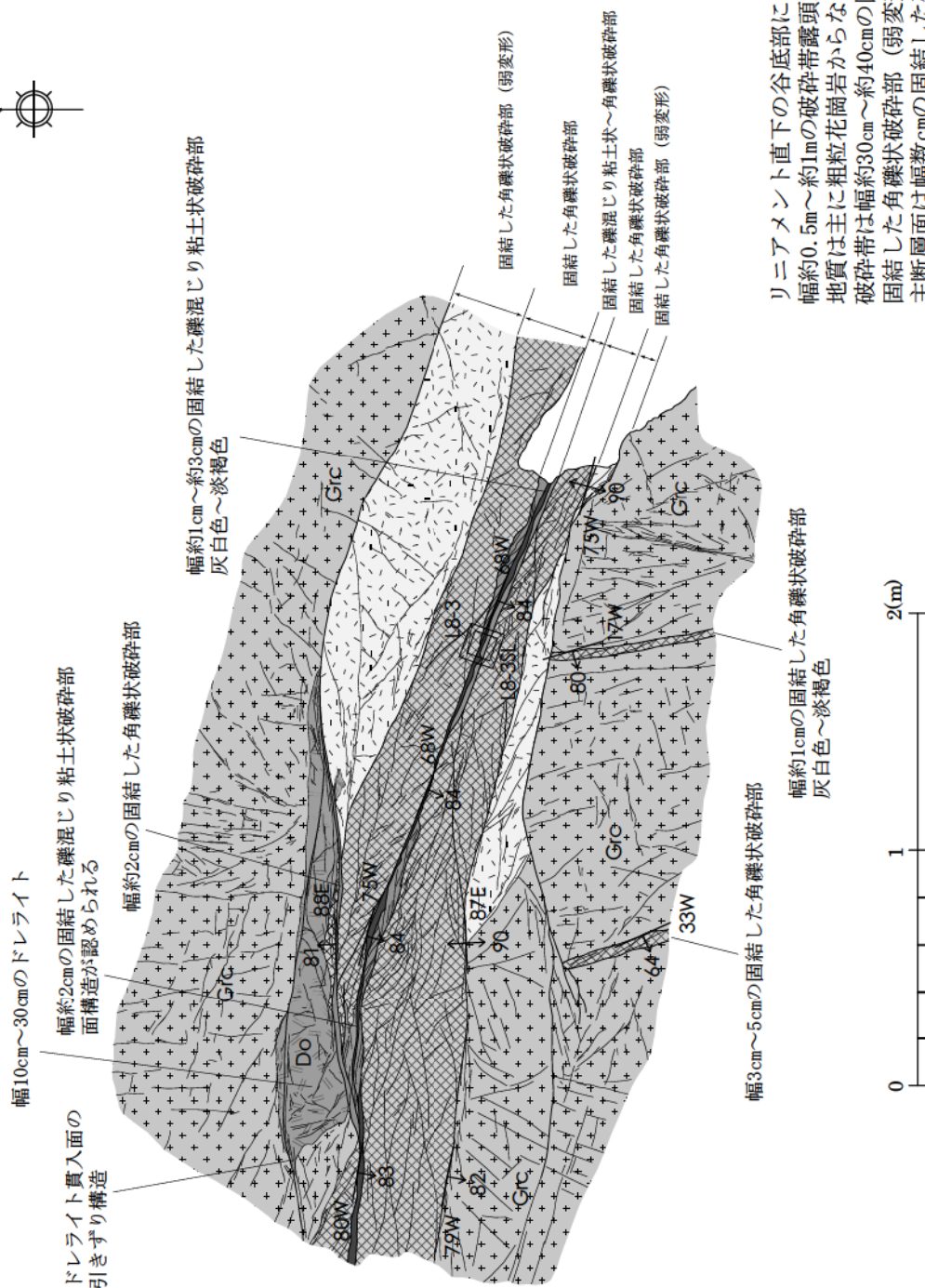
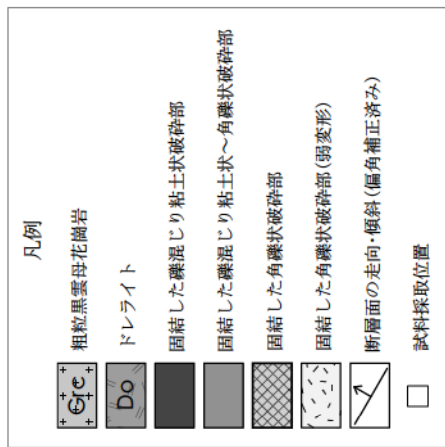


写真3

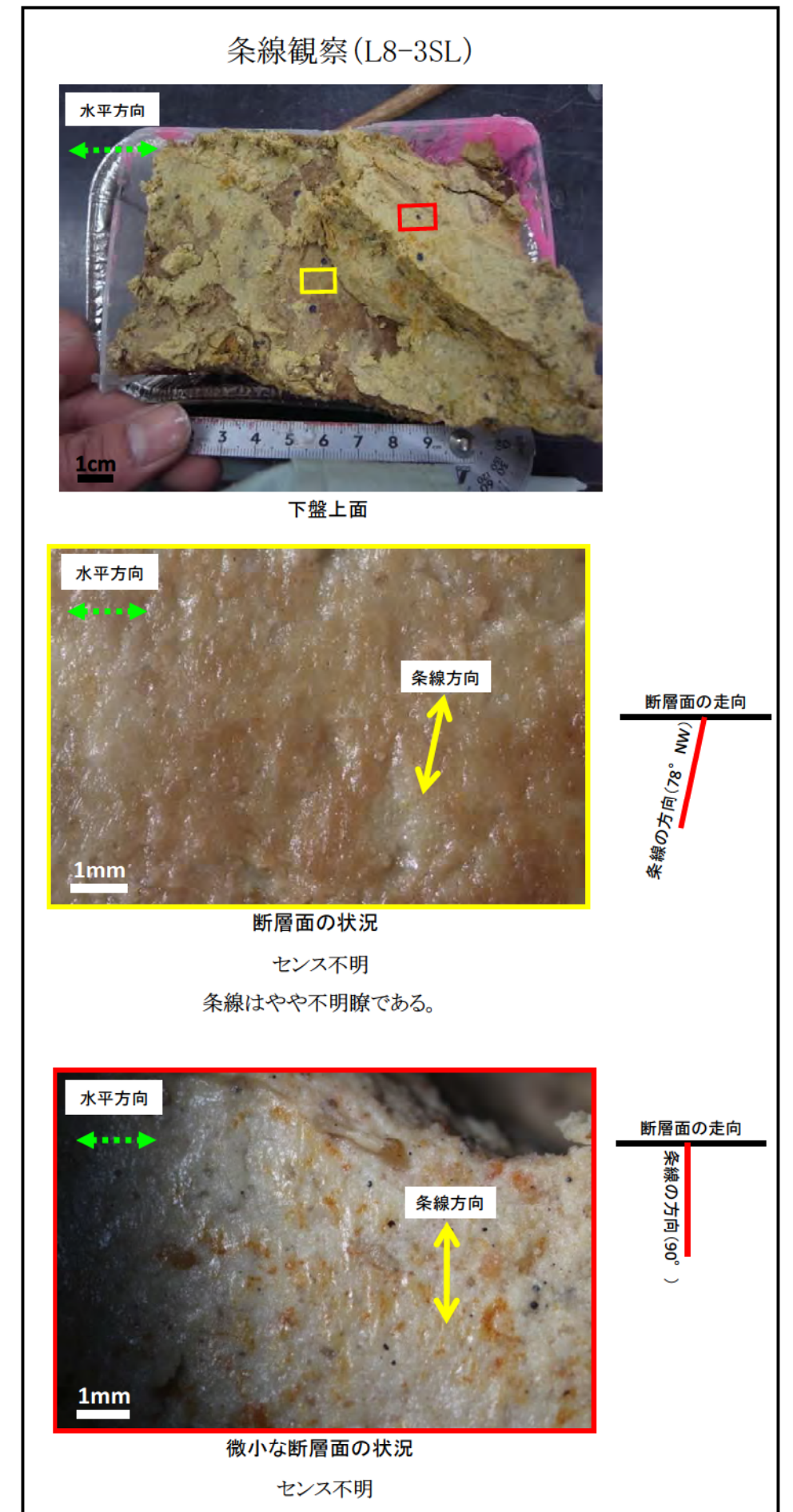
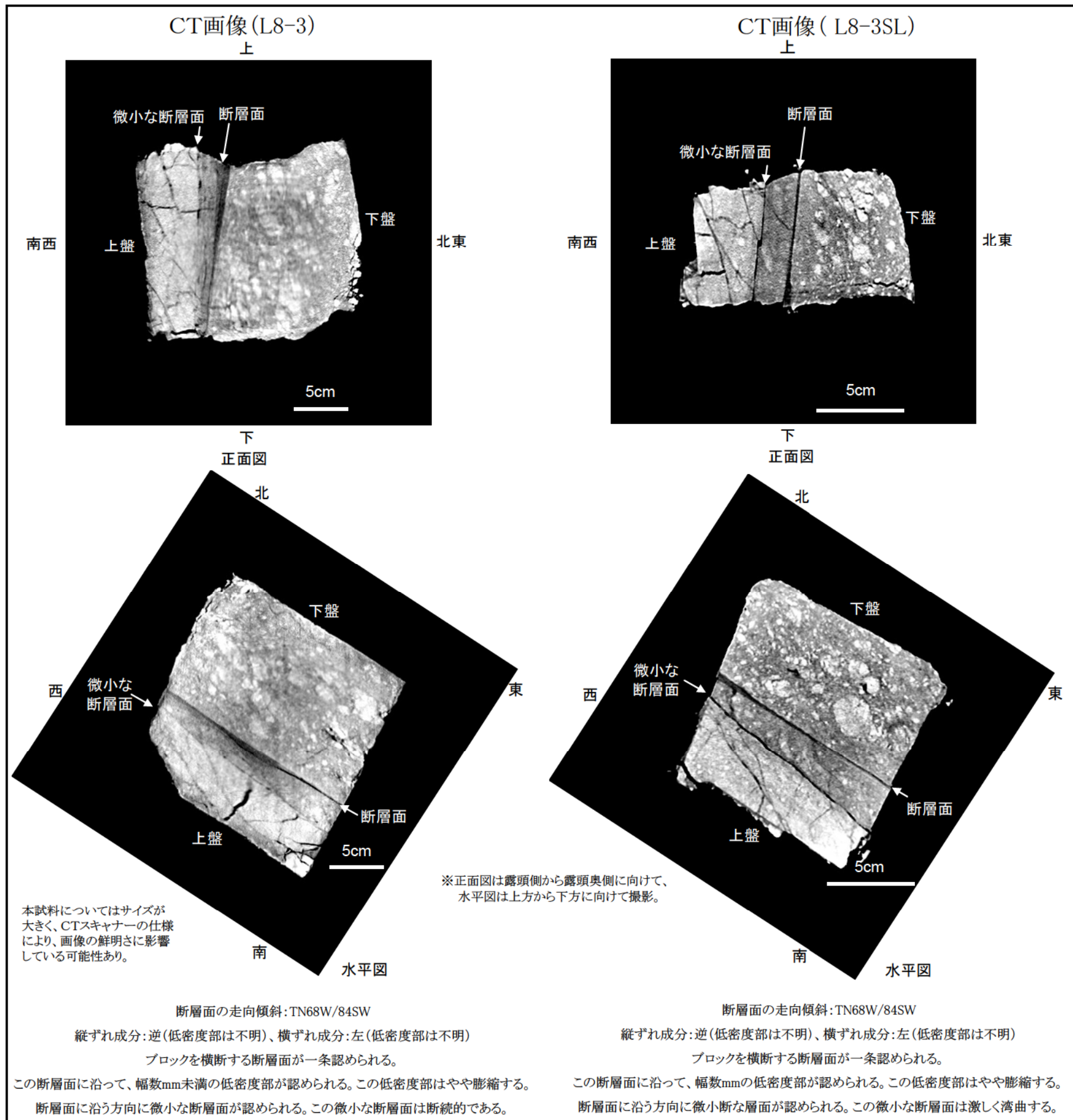
リニアメント直下の谷底部にリニアメント方向と調和的な走向の破砕帯露頭が認められる。
地質は主に粗粒黒雲母花崗岩からなり、幅数10cmのドレイト岩脈を伴う。
破砕帯は幅約30cm～約40cmの固結した角礫状破砕部を主体し、周囲に固結した角礫状破砕部 (弱変形) を伴う。
主断層面は幅数cmの固結した凝結り粘土状破砕部からなり、走向・傾斜はN68～80° W/83～84° Sを示す。

第 1.4.99 図 L-8 リニアメント d 地点の露頭写真 (Loc.L8-3)

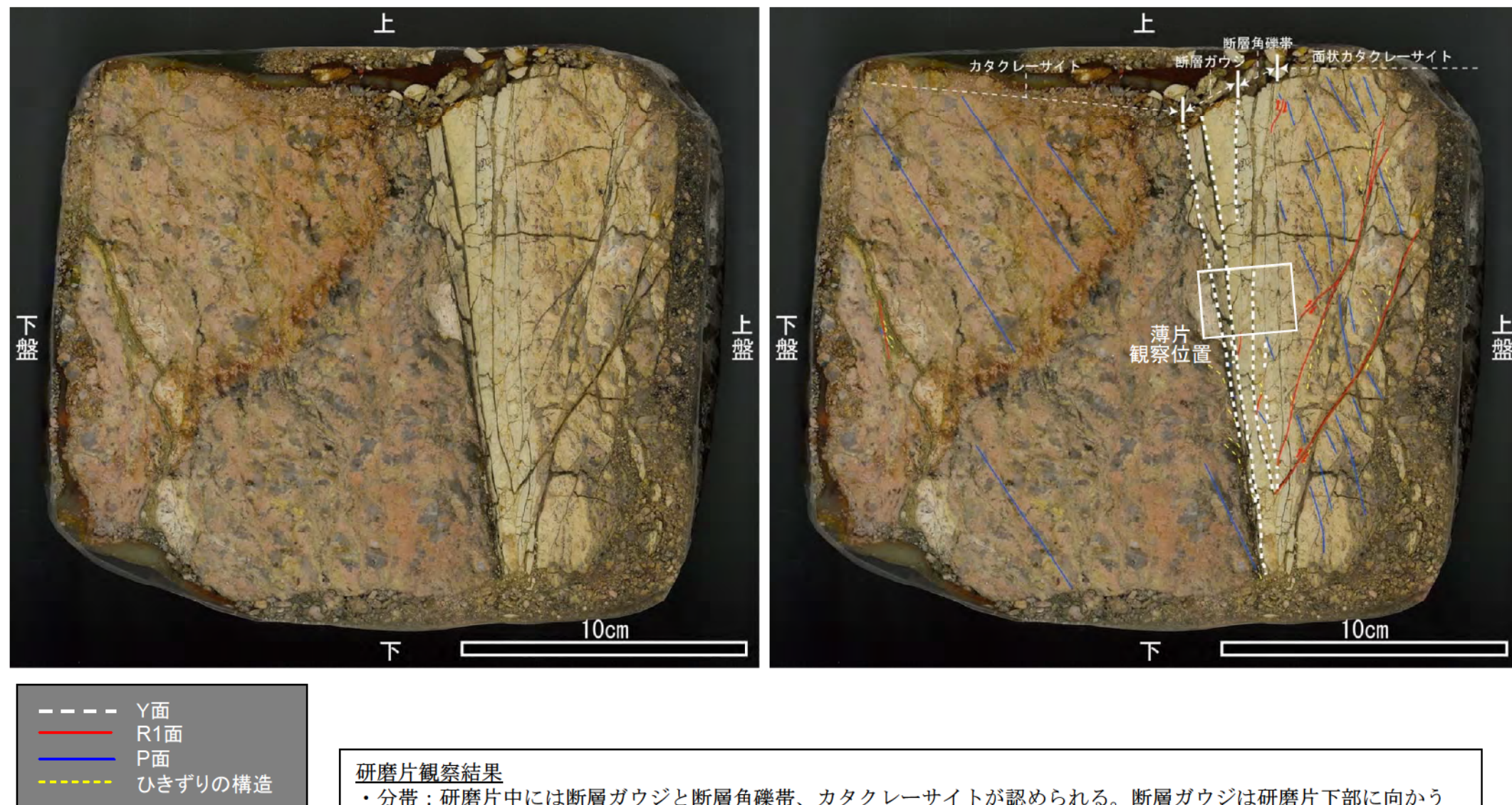


リニアメント直下の谷底部にリニアメント方向と調和的な走向の幅約0.5m～約1mの破砕帯露頭が認められる。
地質は主に粗粒花崗岩からなり、幅数10cmのドレライト岩脈を伴う。
破砕帯は幅約30cm～約40cmの固結した角礫状破砕部を主体し、周囲に固結した角礫状破砕部 (弱変形) を伴う。
主断層面は幅数cmの固結した礫混じり粘土状破砕部からなり、走向・傾斜はN68～80° W/83～84° Sを示す。

第1.4.100図 L-8 リニアメントd地点の露頭スケッチ (Loc. L8-3)



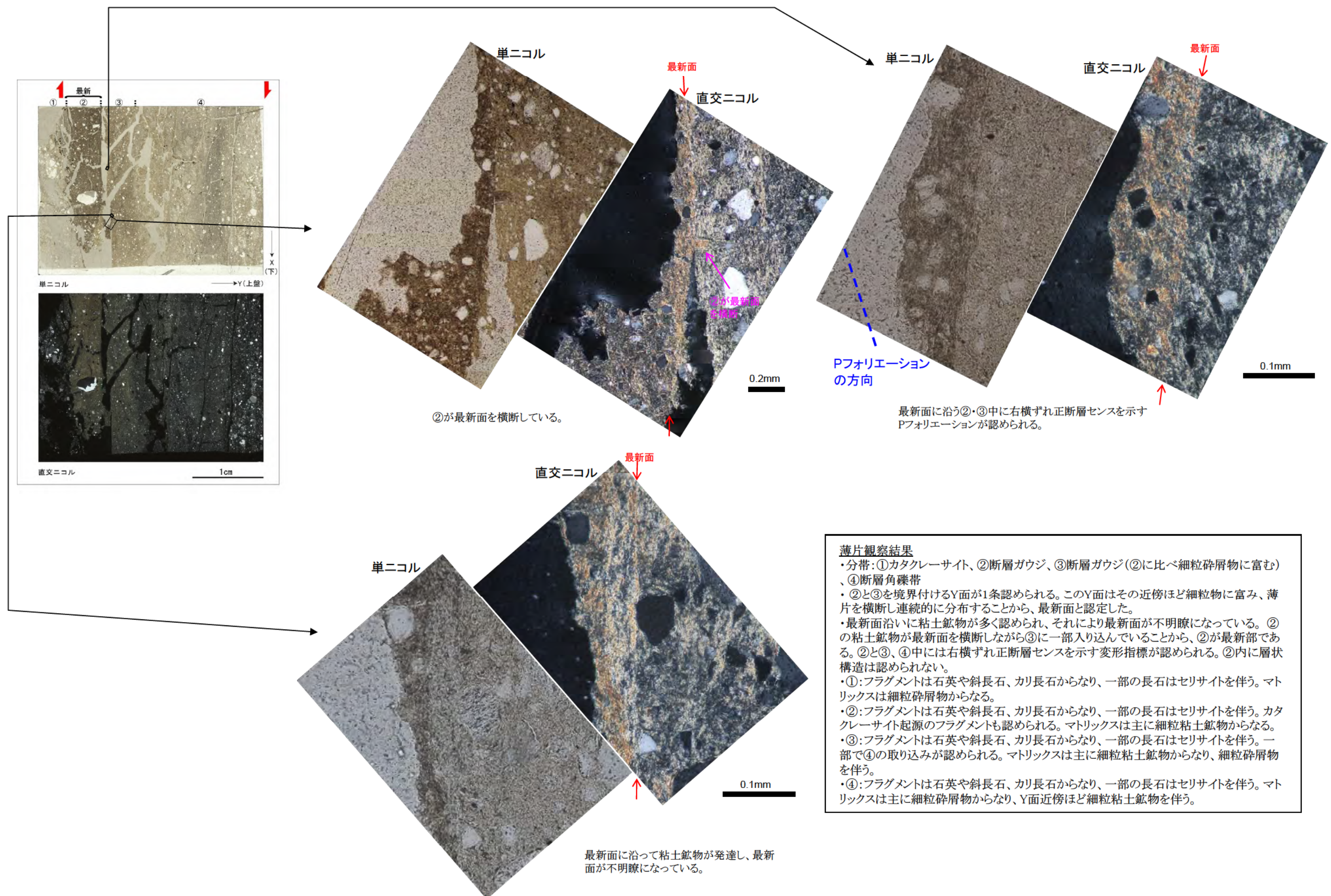
第 1.4.101 図 L-8 リニアメント d 地点の破碎部 ブロック試料の C T 画像観察結果及び条線観察結果 (Loc. L8-3)



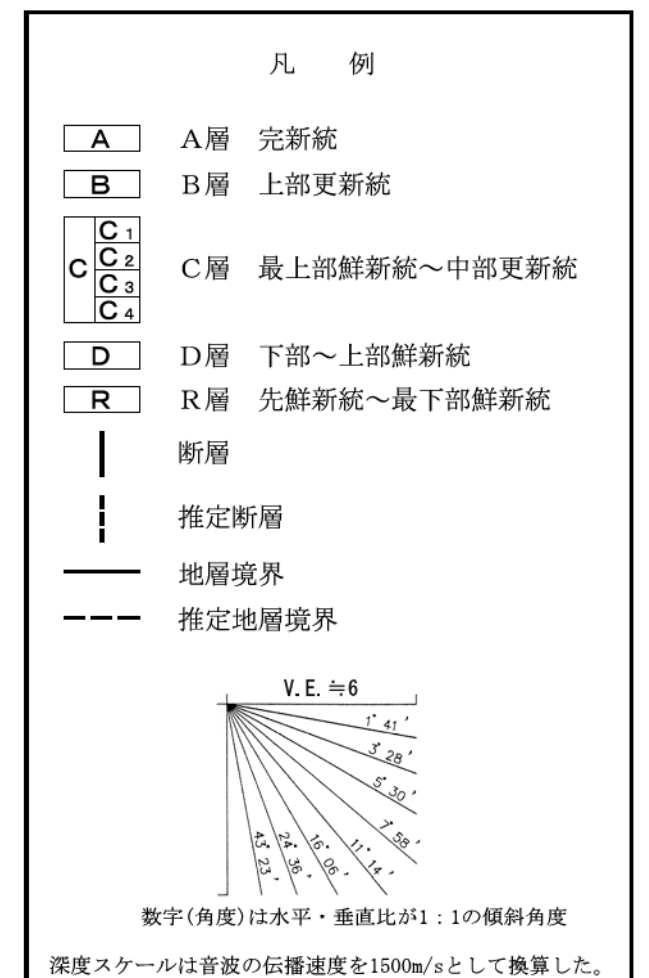
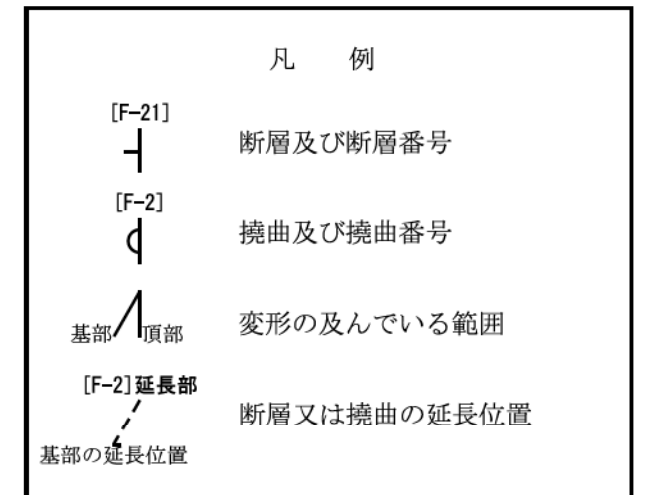
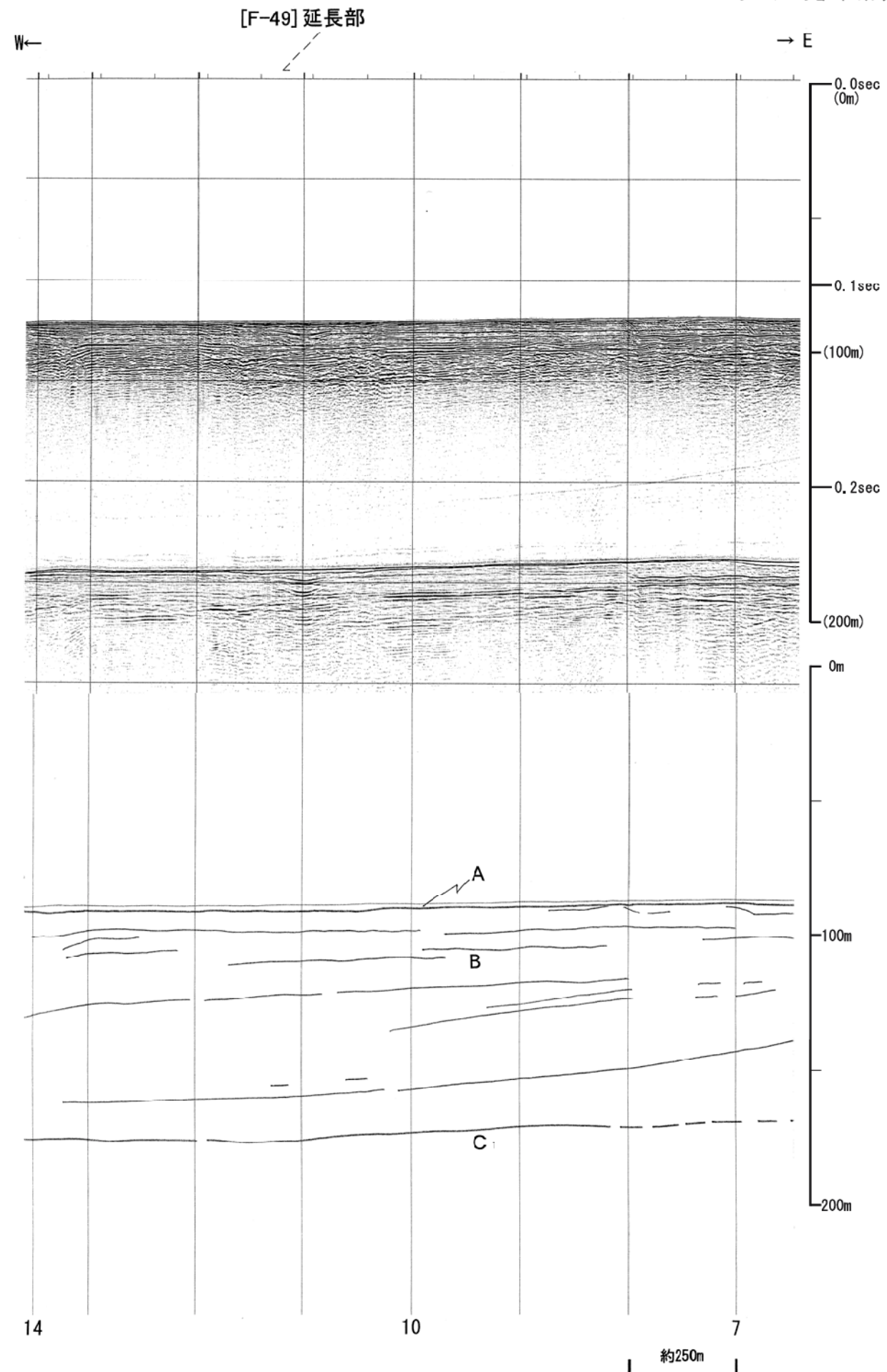
研磨片観察結果

- ・分帯：研磨片中には断層ガウジと断層角礫帯、カタクレーサイトが認められる。断層ガウジは研磨片下部に向かうほど、幅が狭くなる。研磨片上部の断層角礫と断層ガウジの境界は漸移的である。
- ・研磨片を横断するY面が1条認められる。このY面は、研磨片上部で断層ガウジ中を通過し、研磨片下部で断層ガウジと断層角礫帯を境界付ける。これらのことから、このY面を最新面に認定した。
- ・研磨片中には右横ずれ正断層センスを示す変形指標が顕著に認められる。

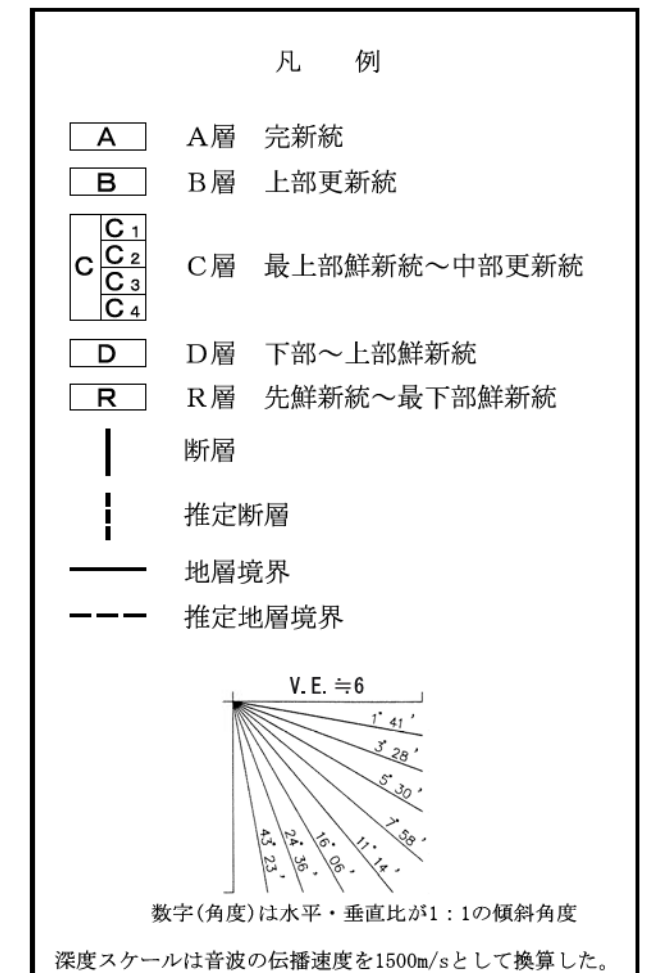
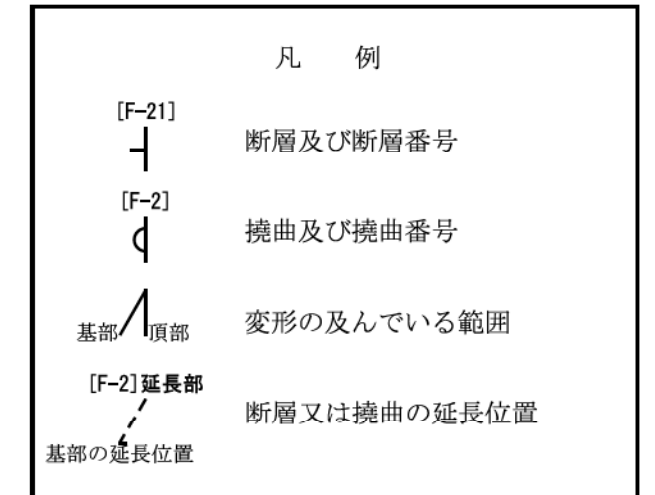
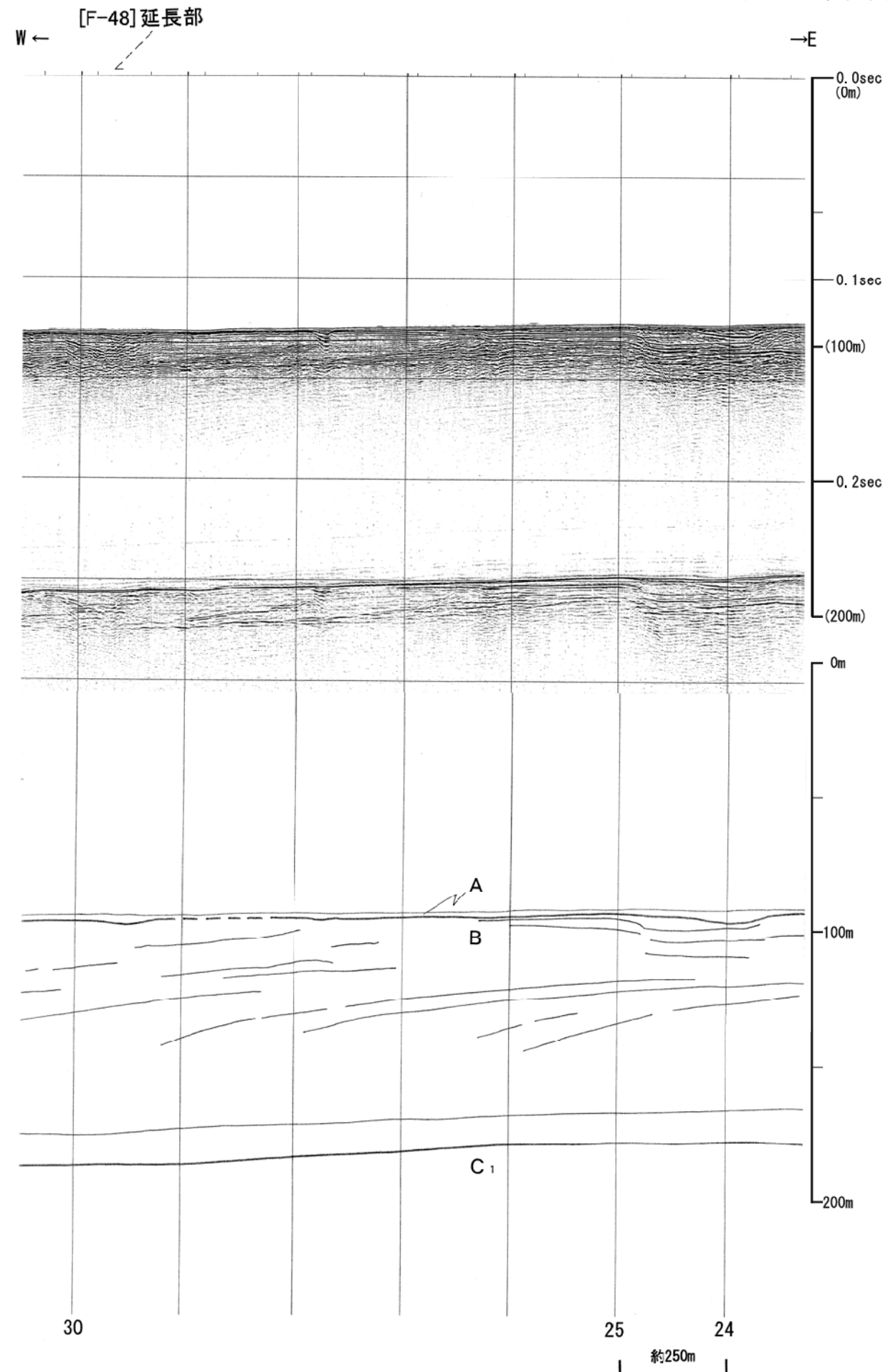
第 1. 4. 102 図 L-8 リニアメント d 地点の破碎部 ブロック試料の研磨片観察結果 (Loc. L8-3)



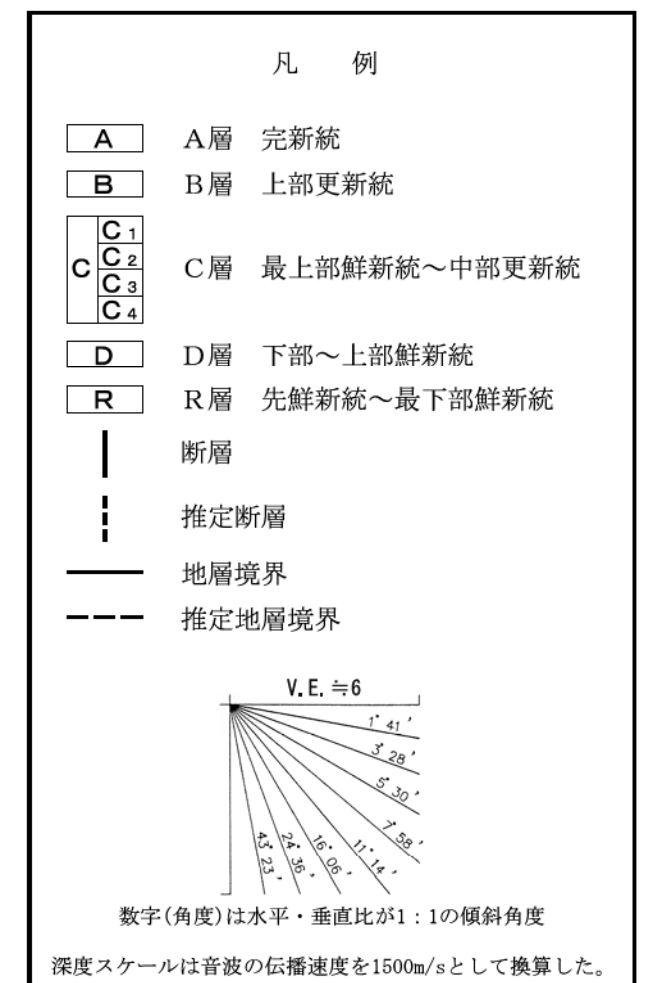
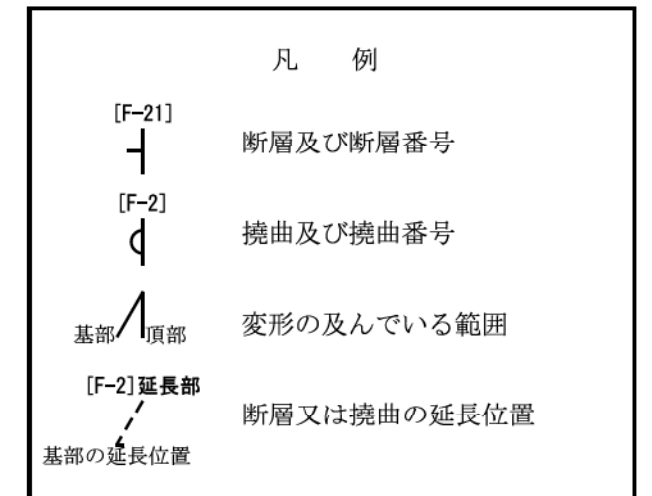
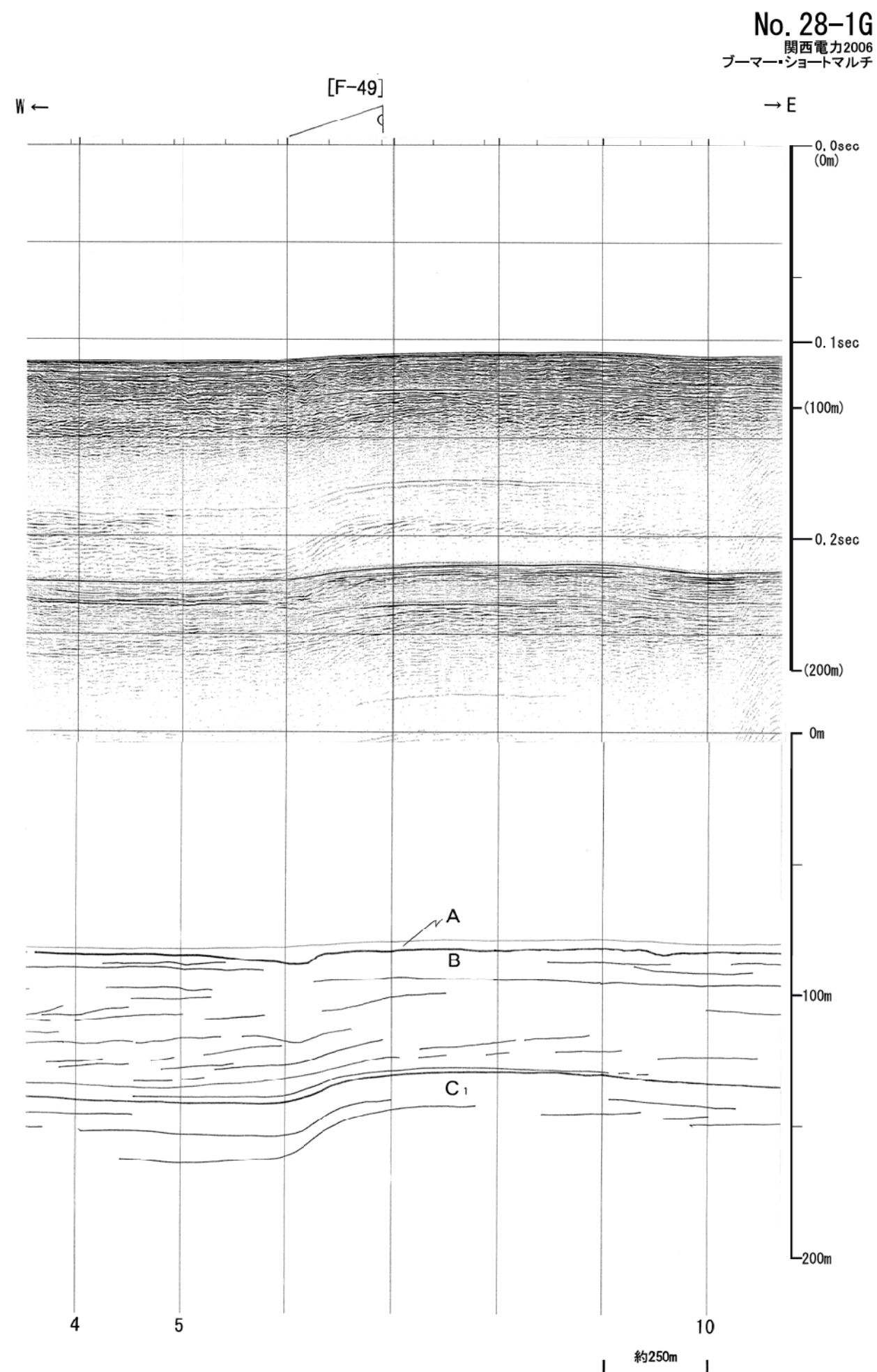
第 1. 4. 103 図 L-8 リニアメント d 地点の破碎部 ブロック試料の薄片観察結果 (Loc. L8-3)

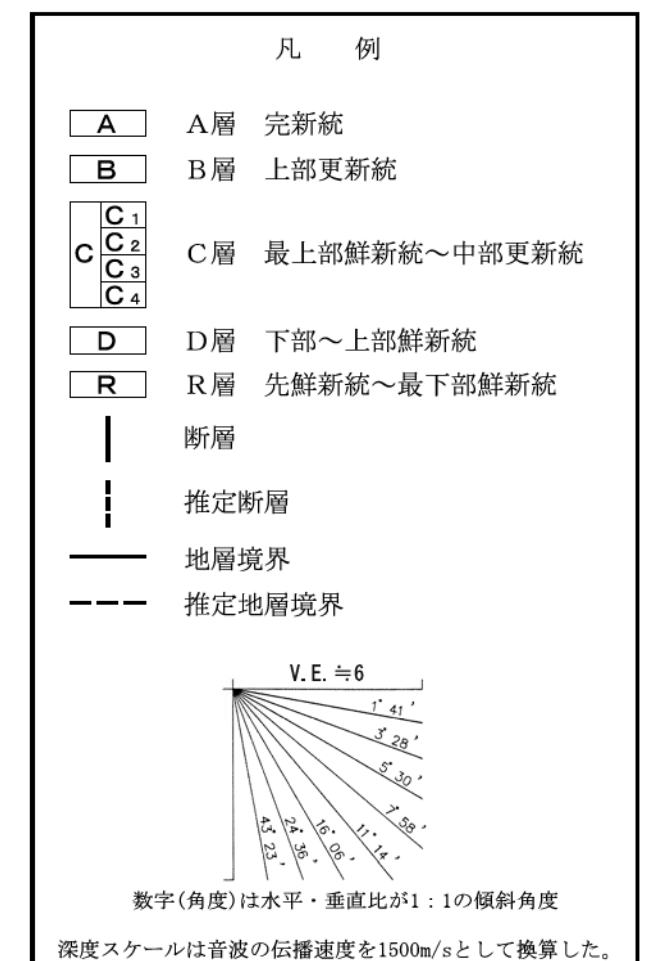
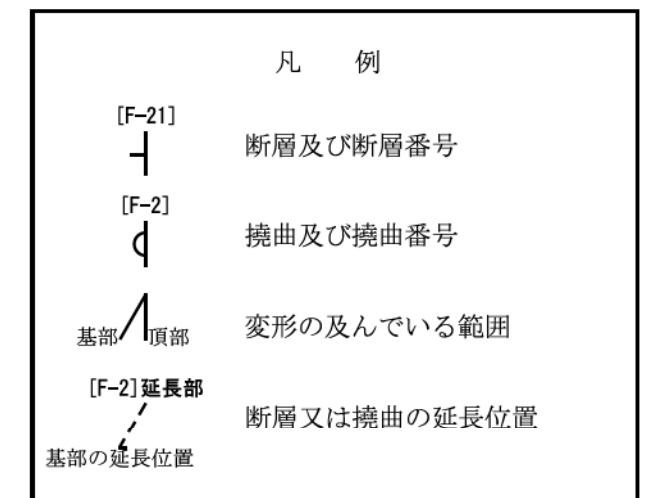
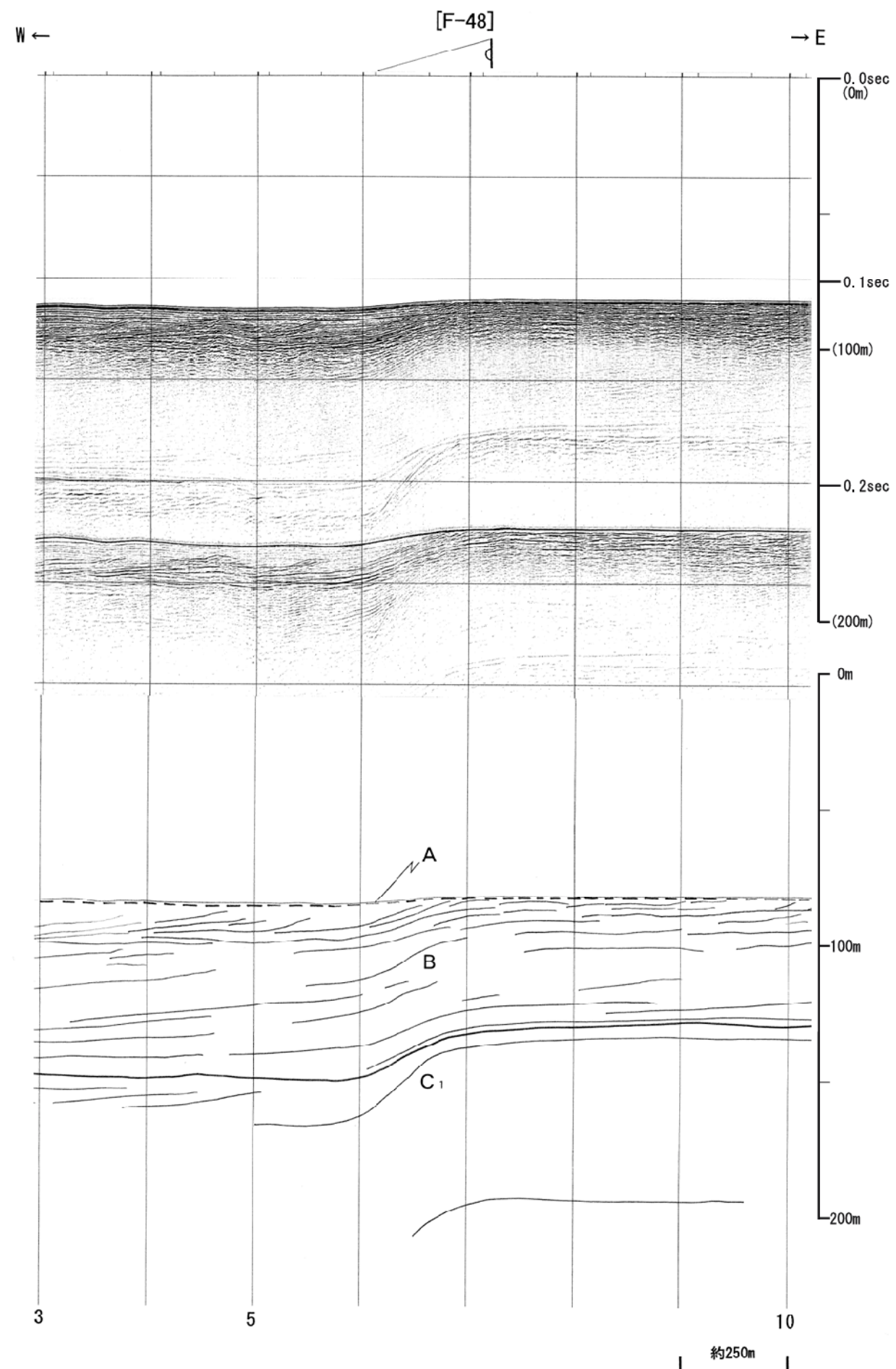


第1.4.104図(1) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No. 22-2G)

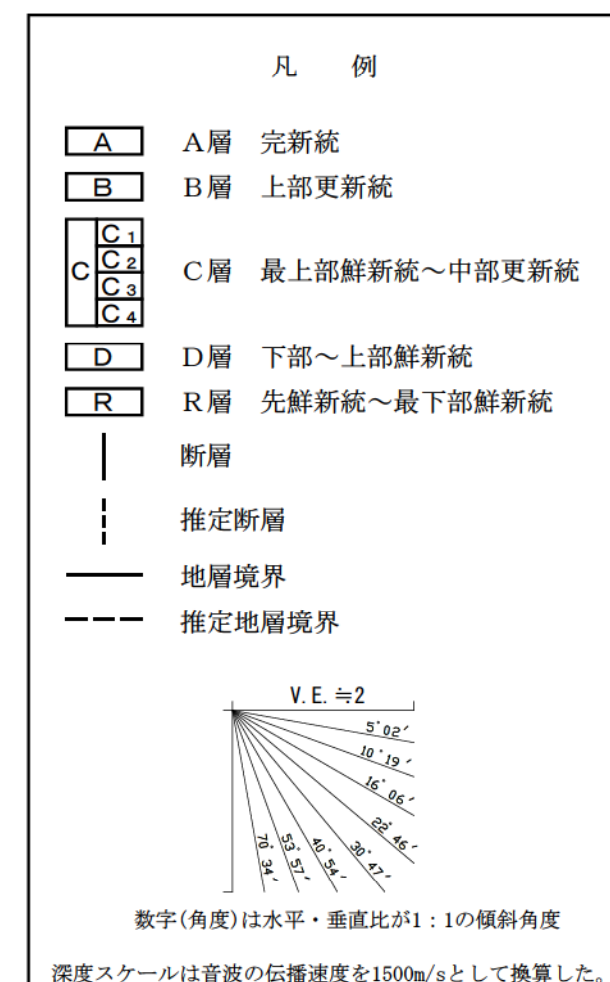
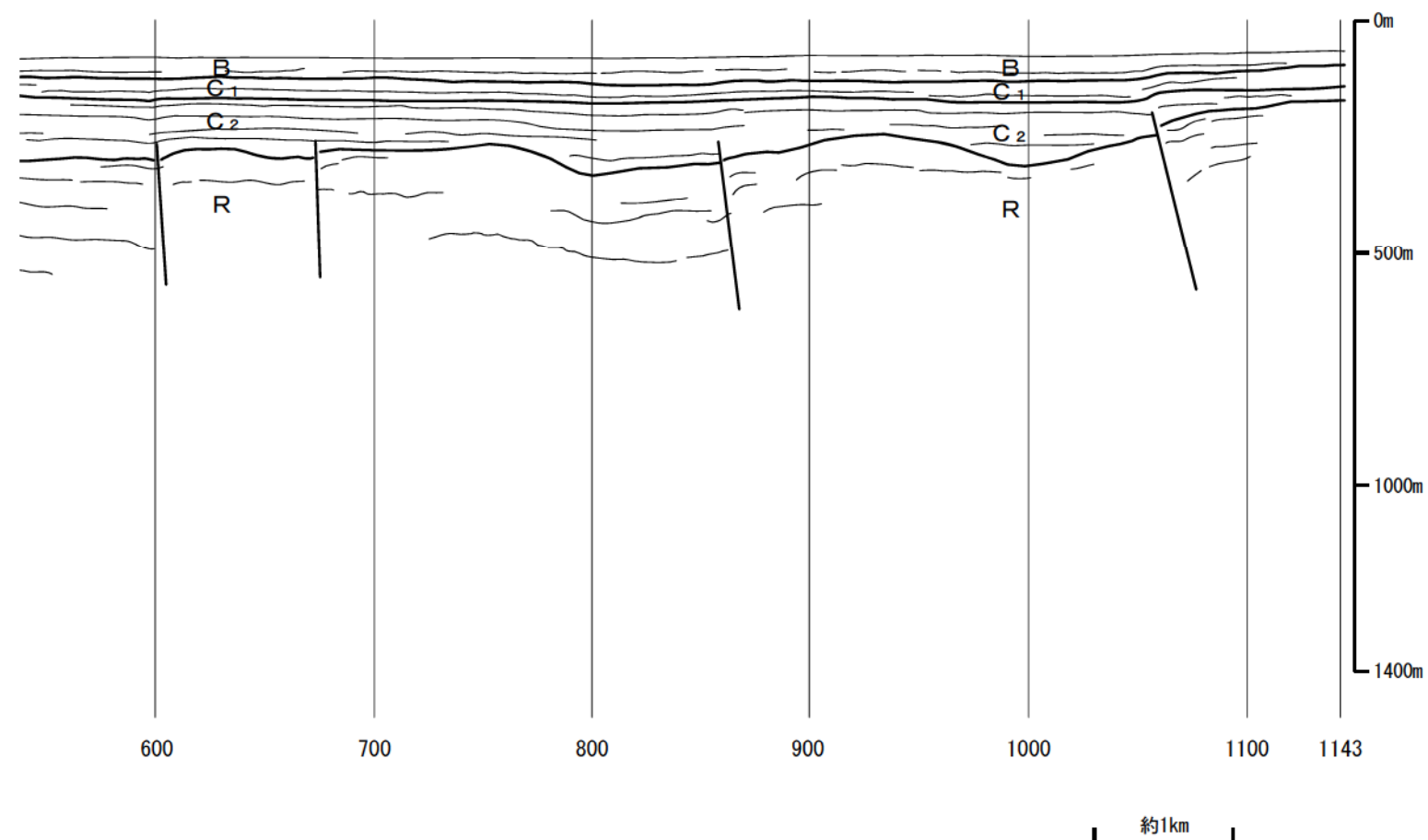
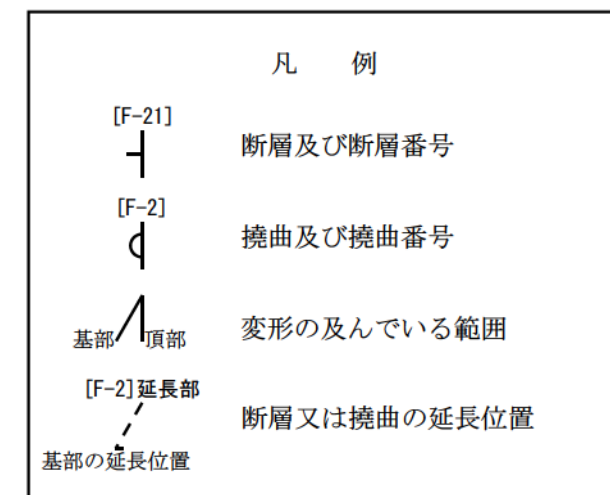
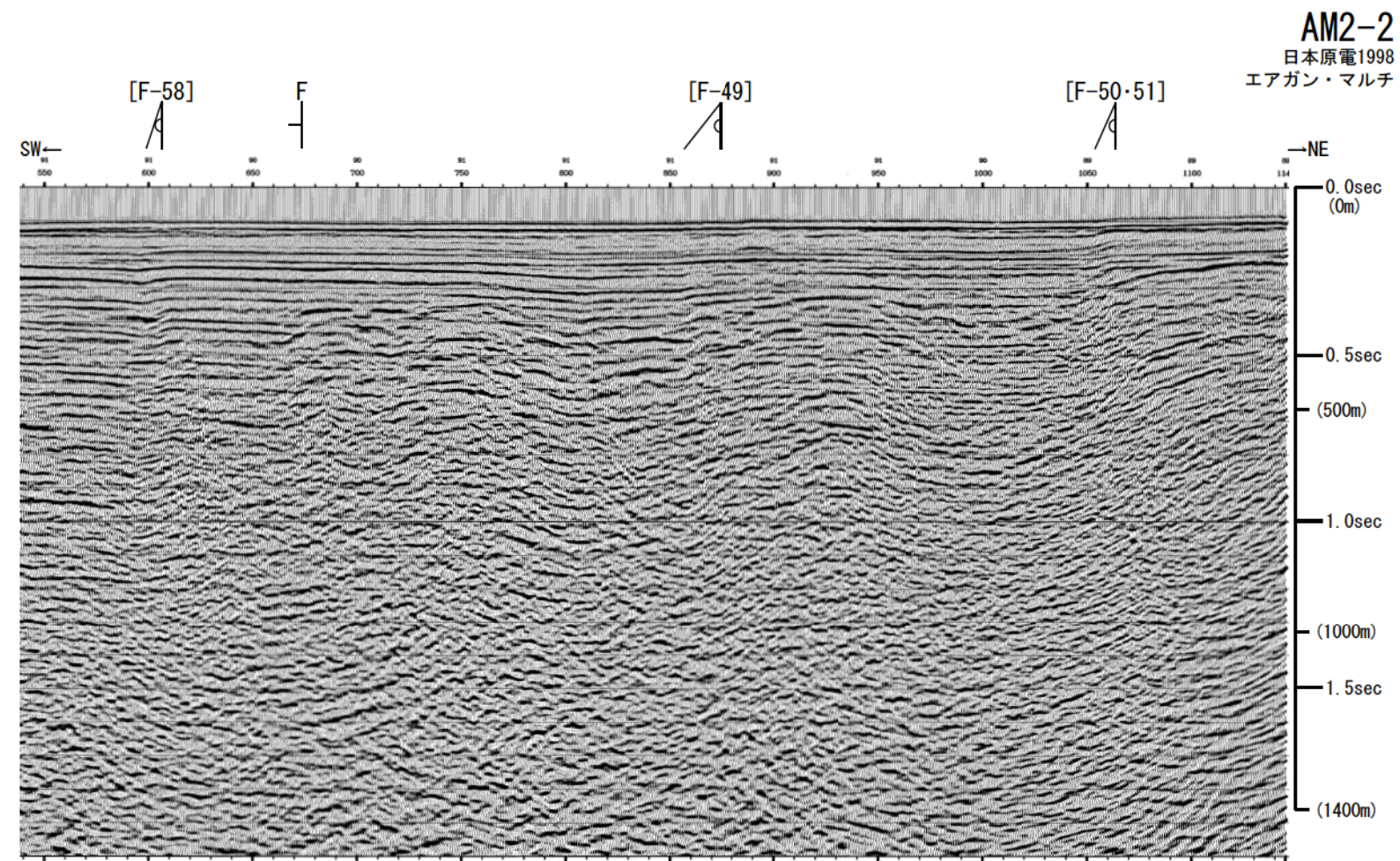


第1. 4. 104図(2) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No. 22-3G)
 6-1-735

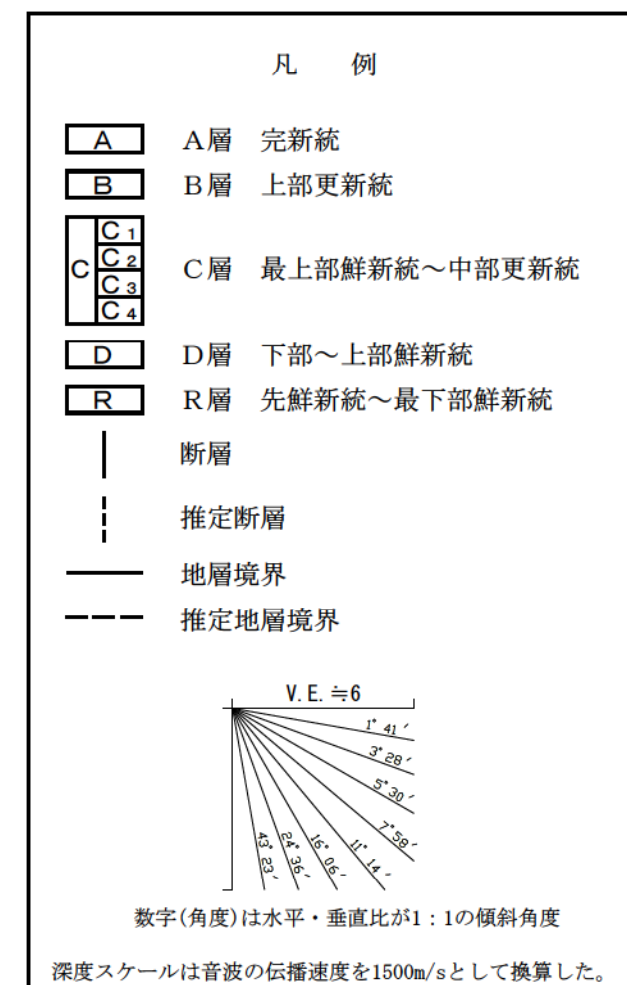
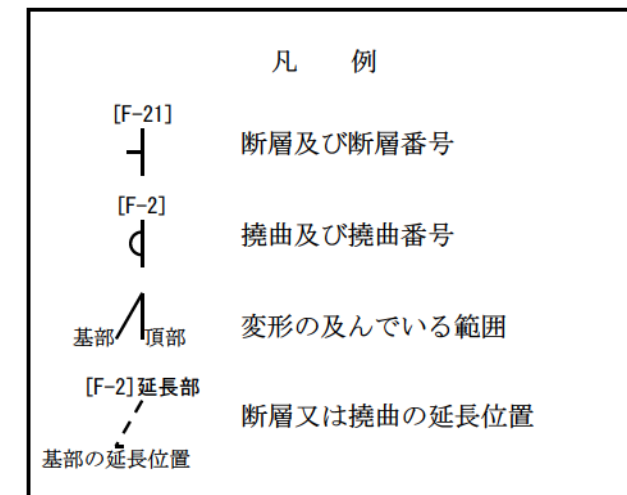
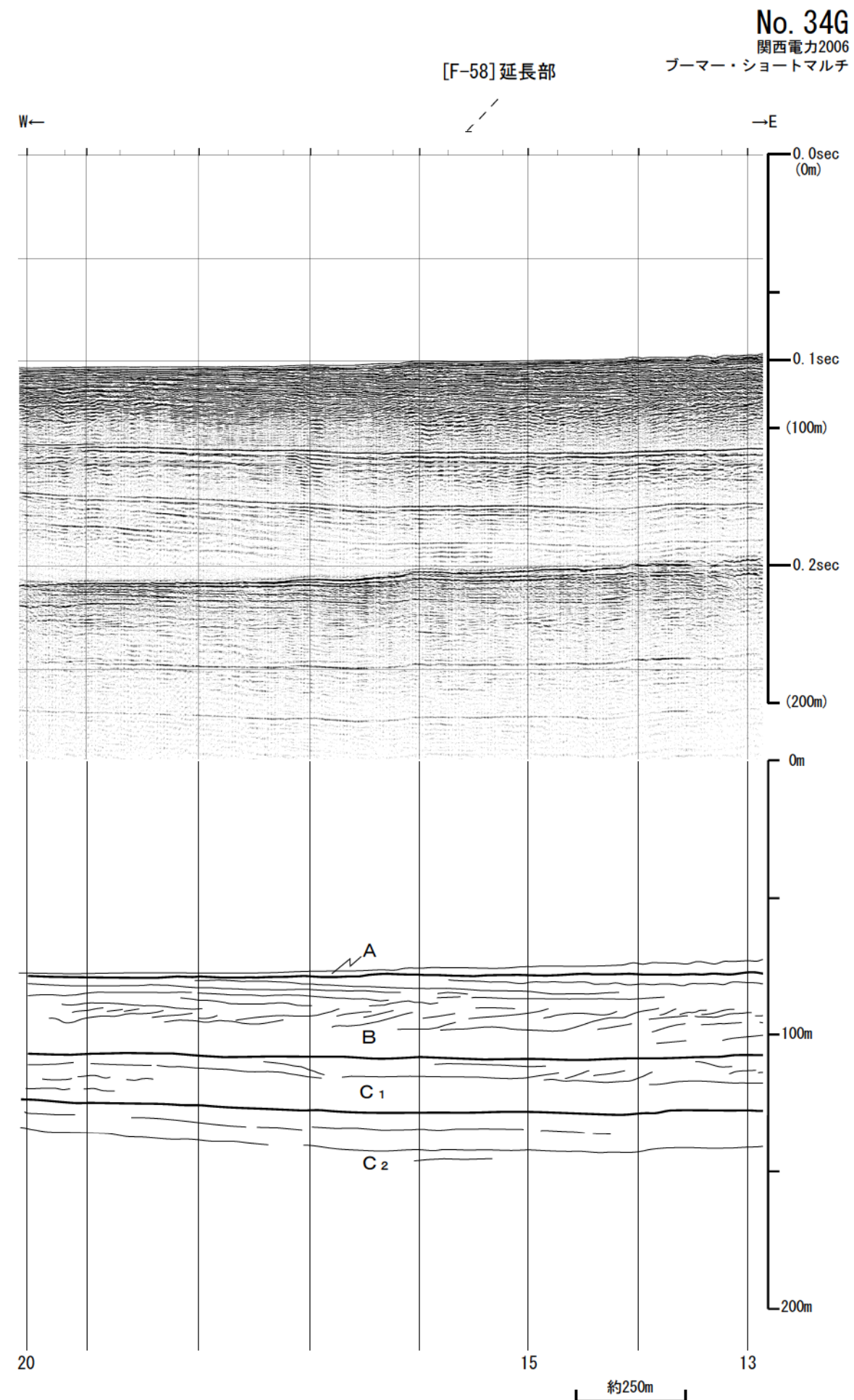




第1. 4. 104図(4) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No. 28-3G)



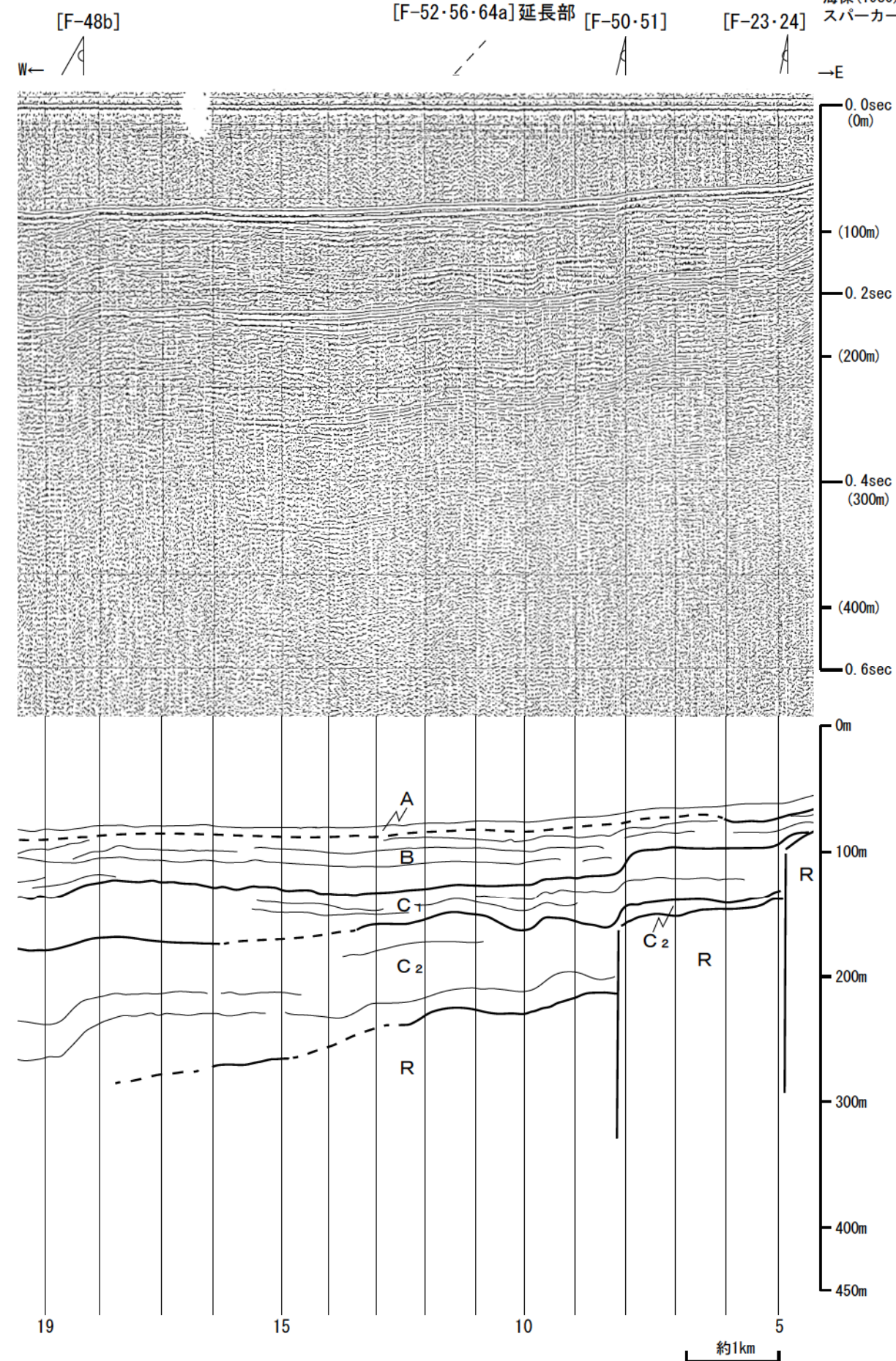
第1. 4. 104図(5) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (AM2-2)



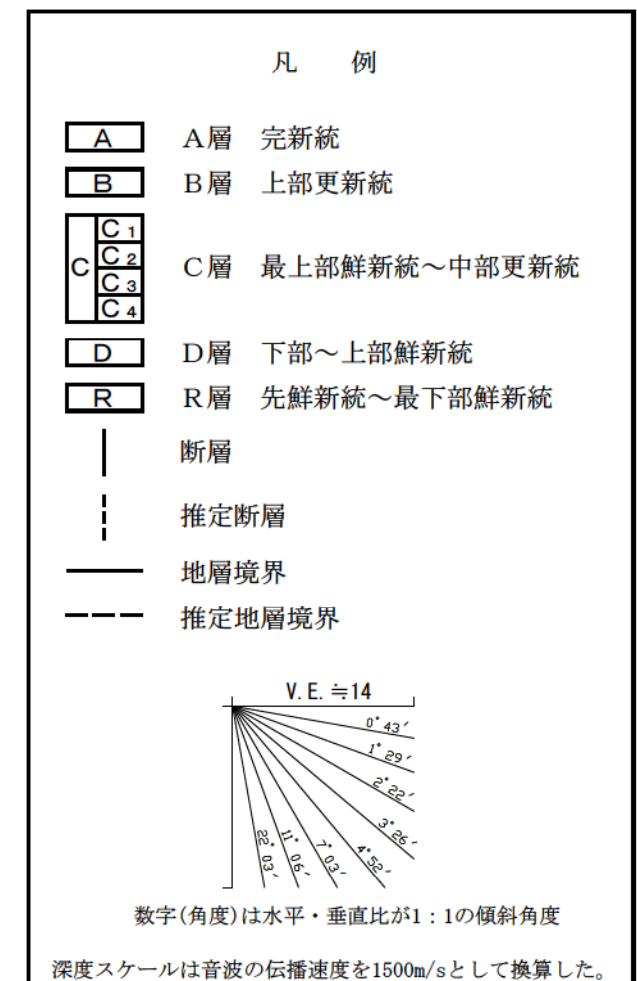
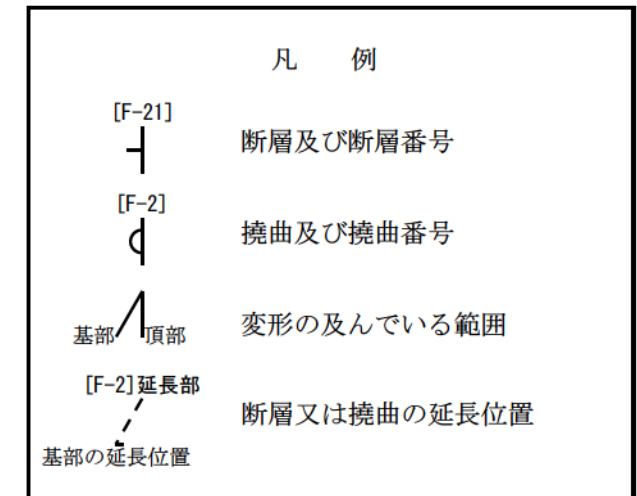
第1. 4. 104図(6) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No. 34G)

No. 30-2

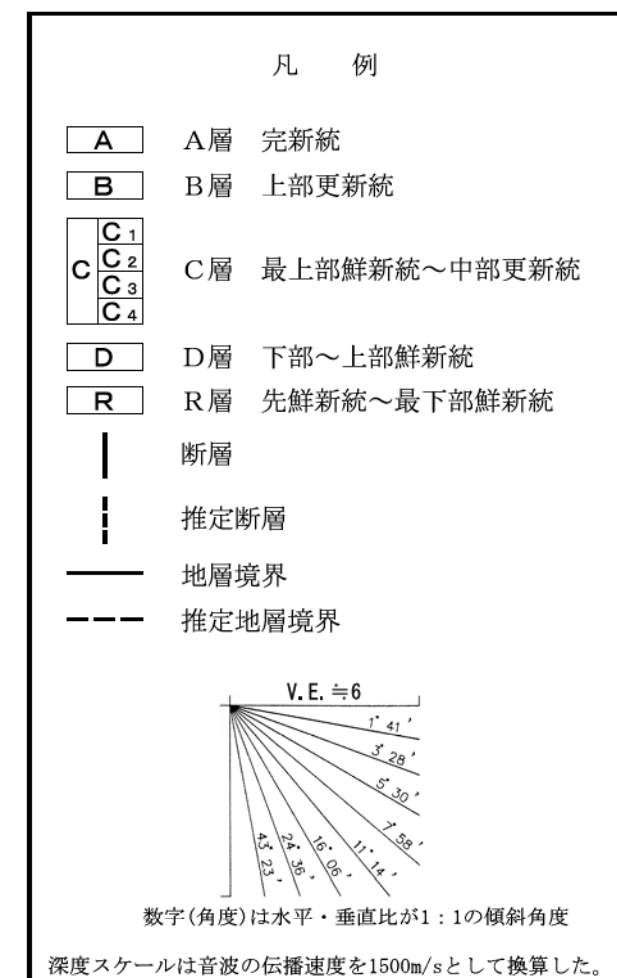
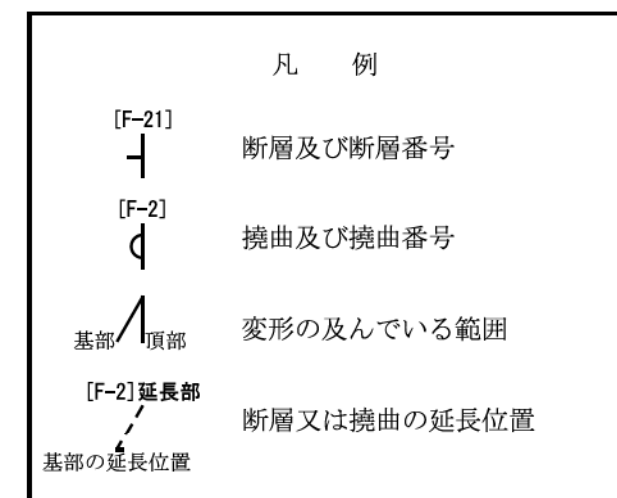
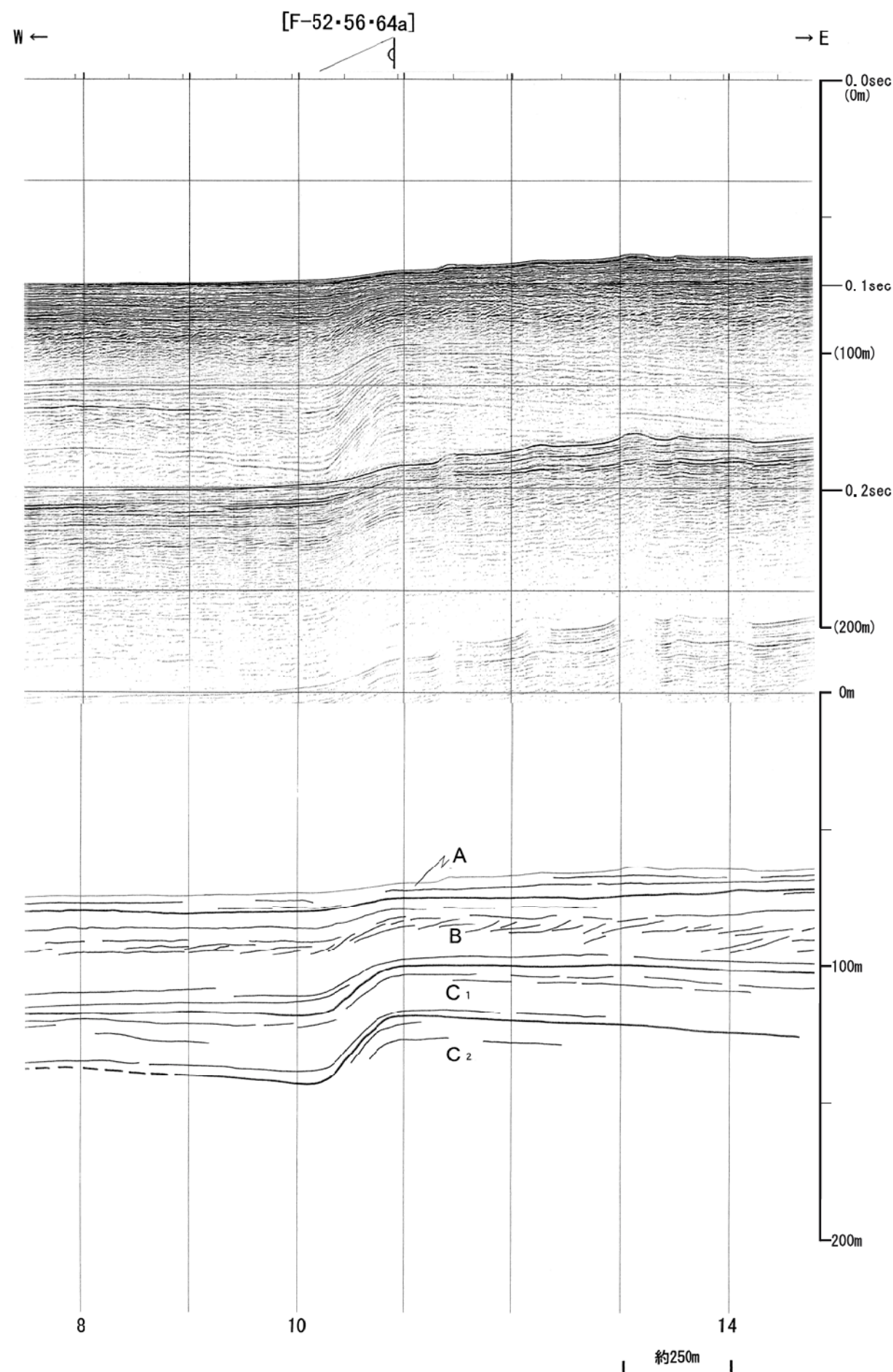
海保(1980)
スパーカー



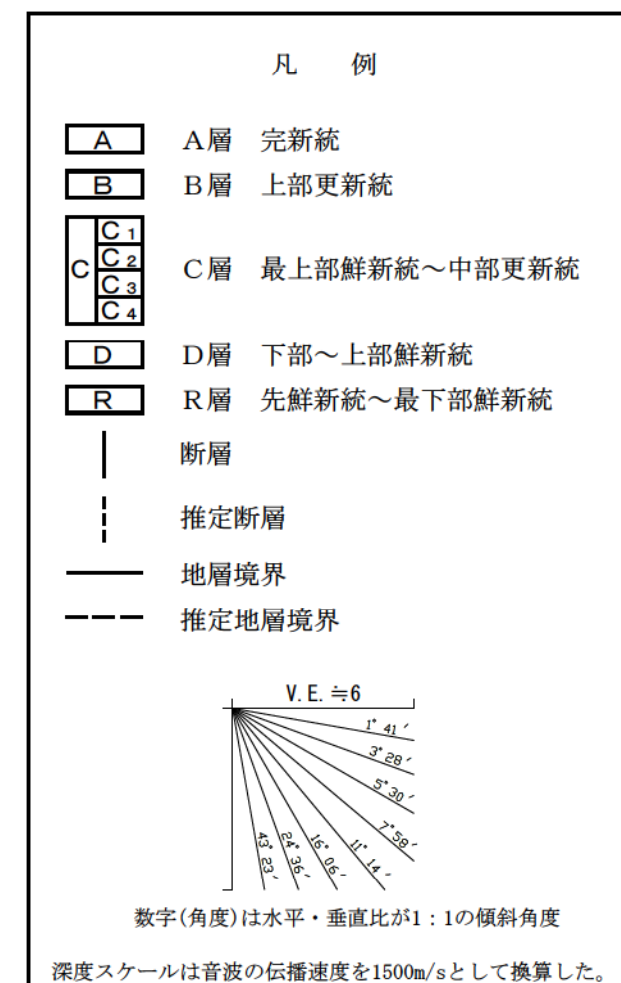
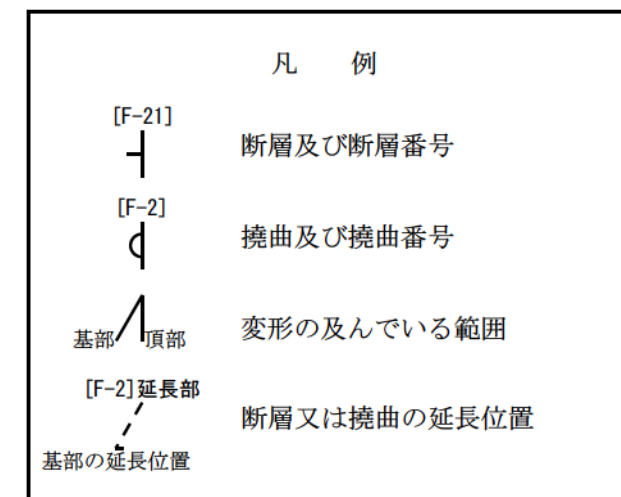
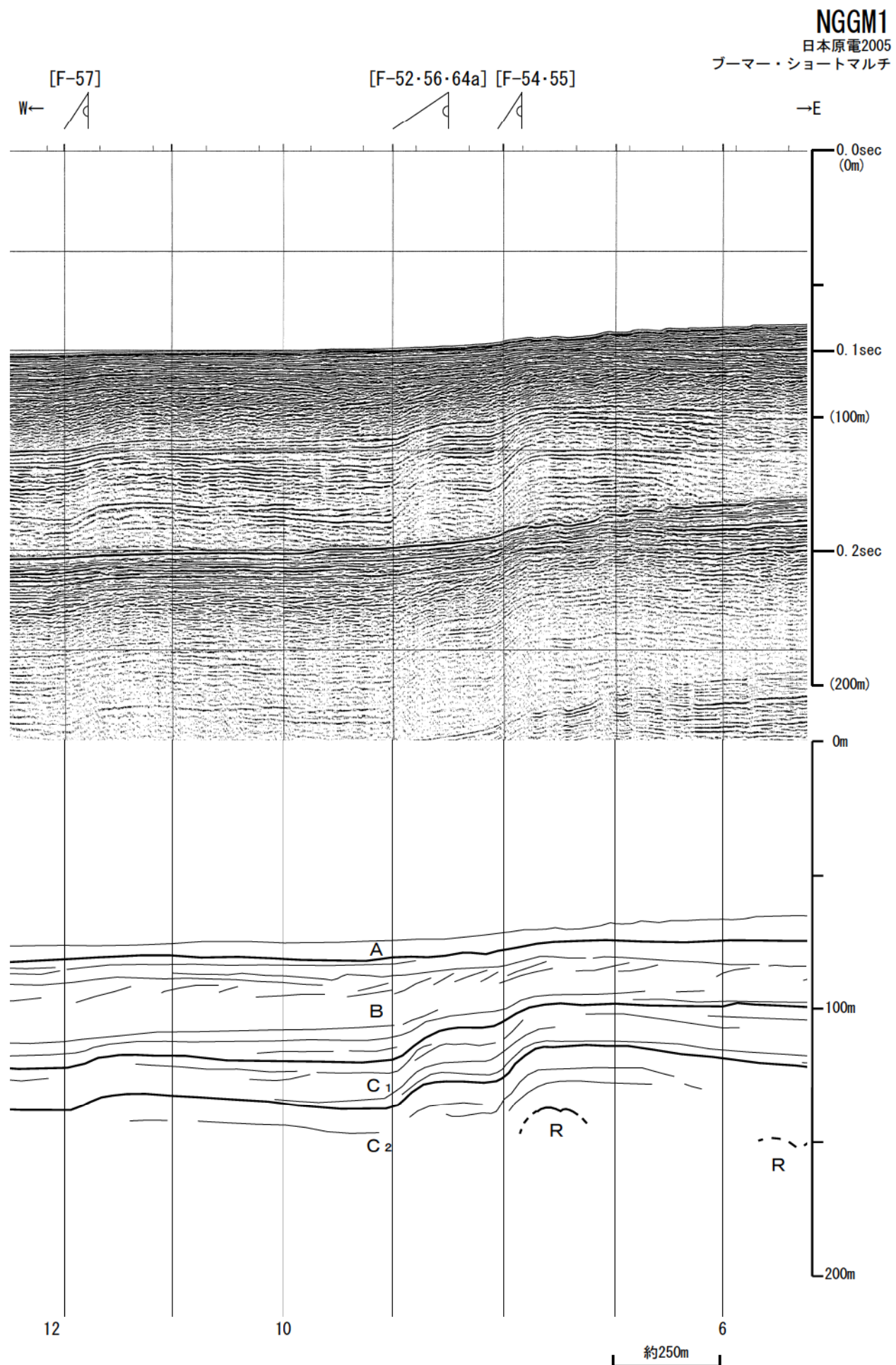
音波探査記録は、海上保安庁水路部（現
海上保安庁海洋情報部）の沿岸の海の基本
図「若狭湾東部」の原資料である。
地質断面図は、申請者の解釈によるもの
である。



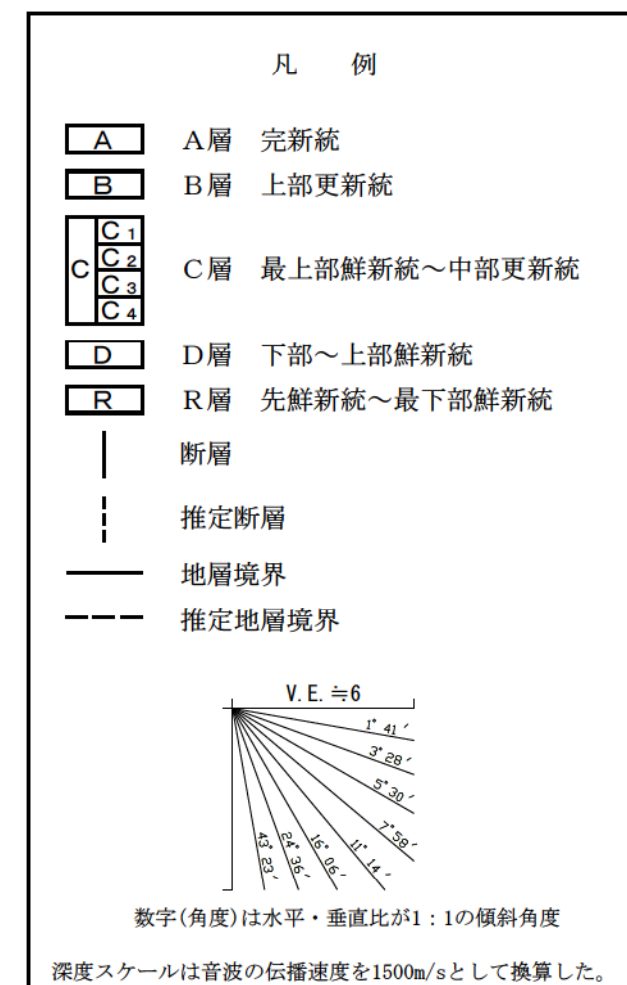
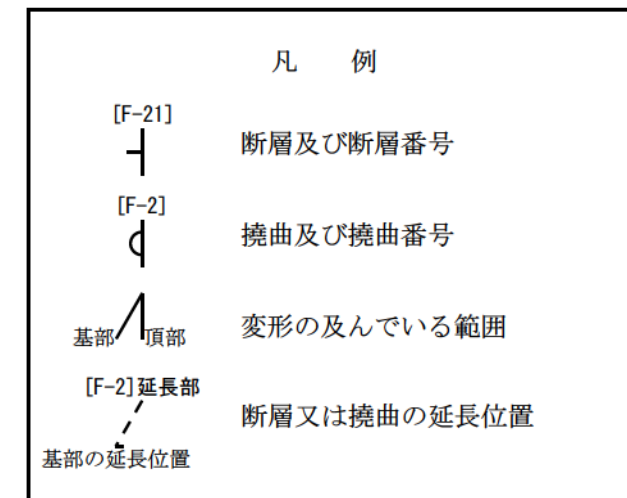
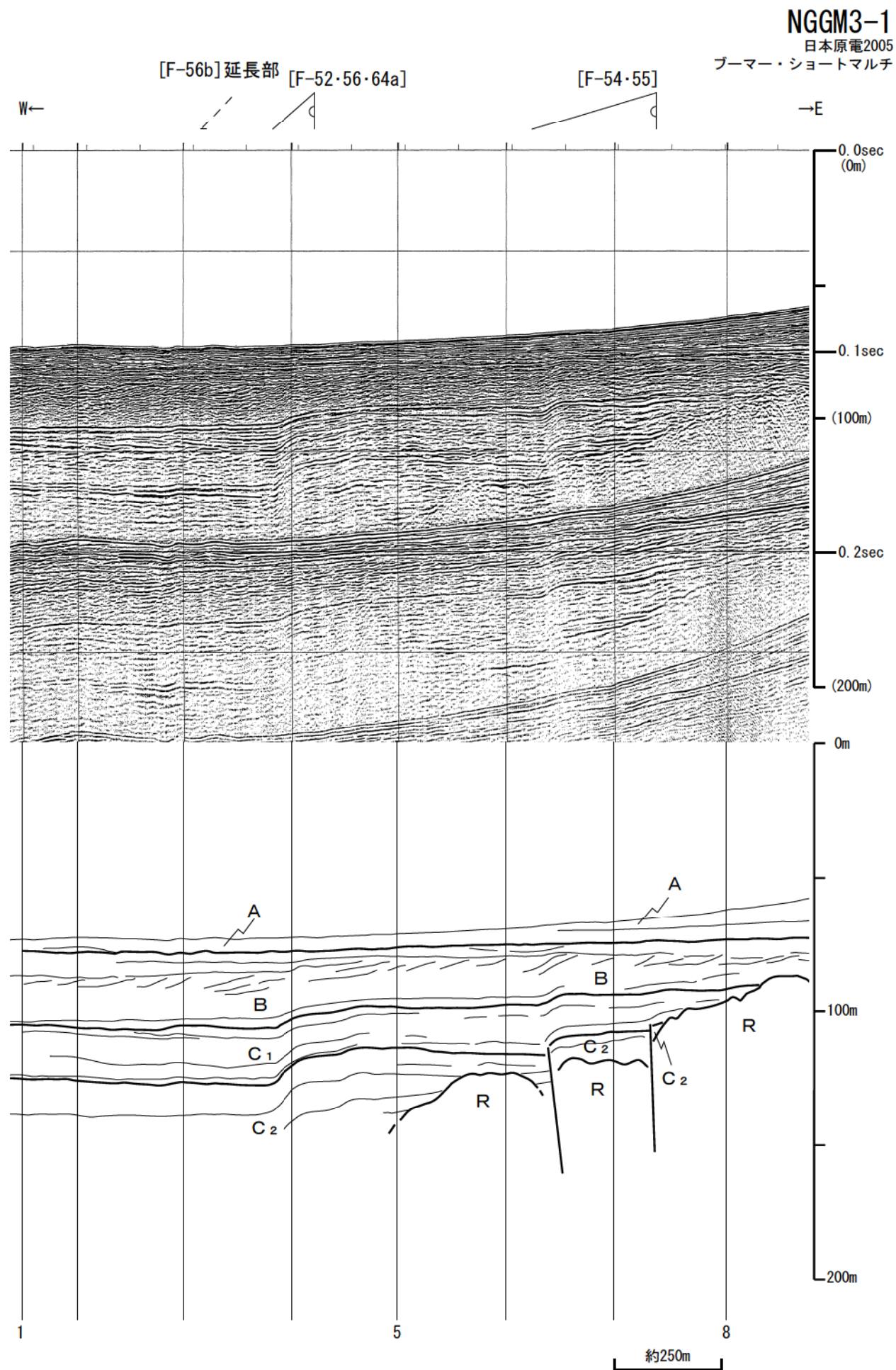
第1. 4. 104図(7) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No. 30-2)



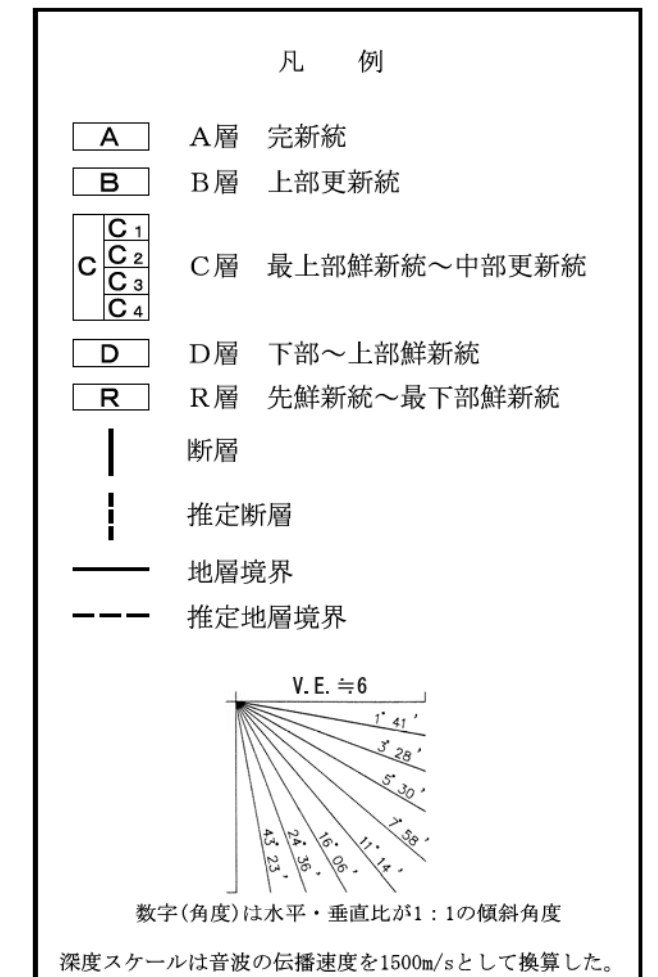
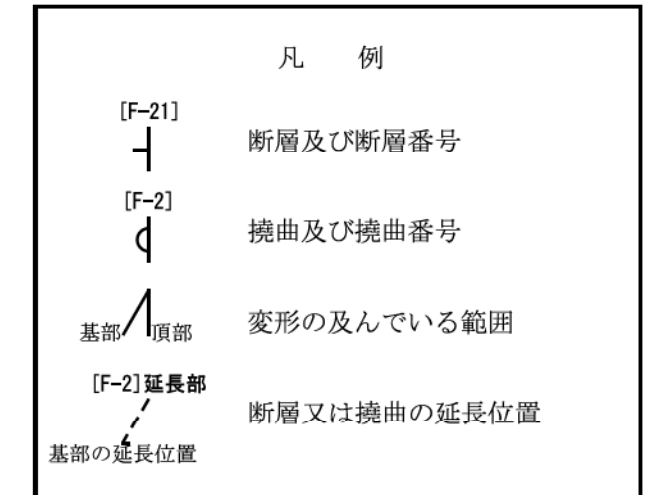
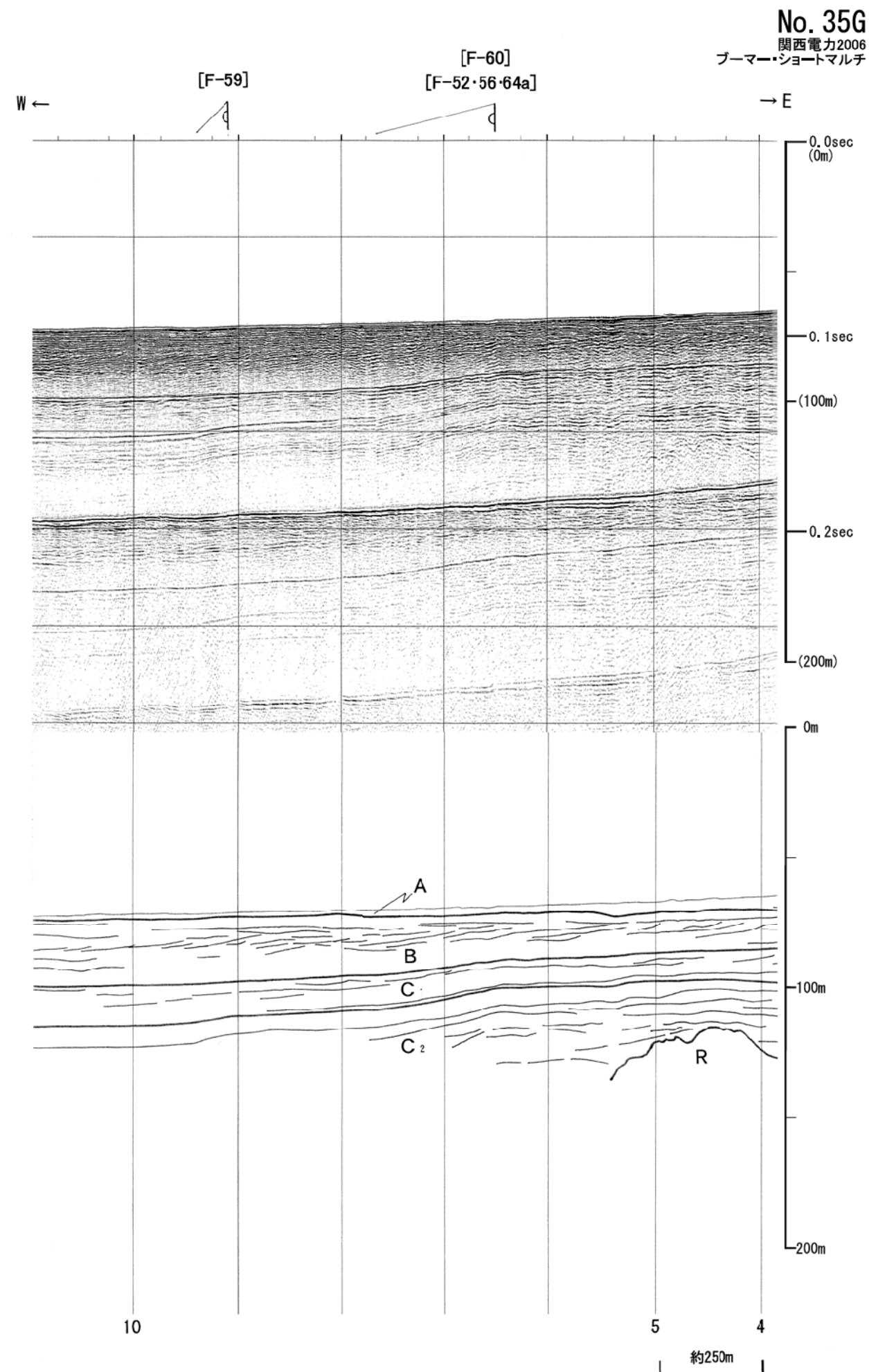
第1. 4. 104図(8) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No. 32-1G)



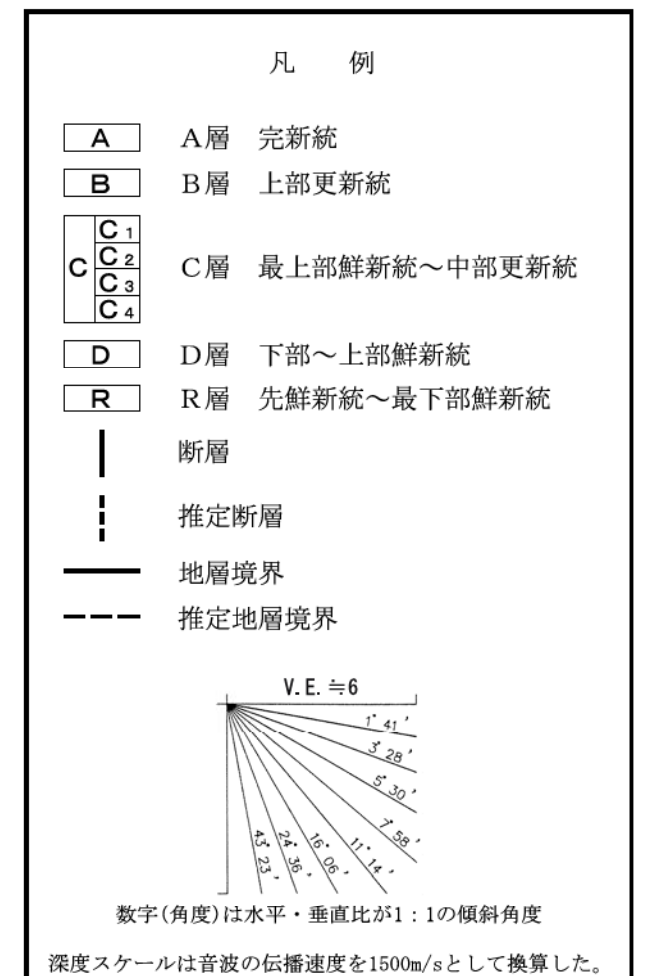
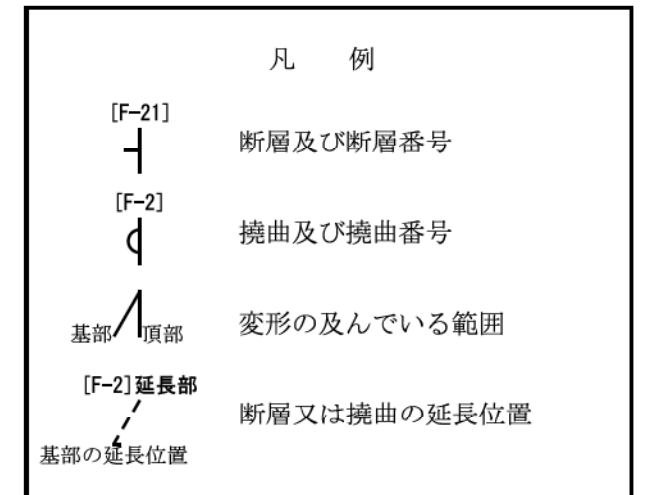
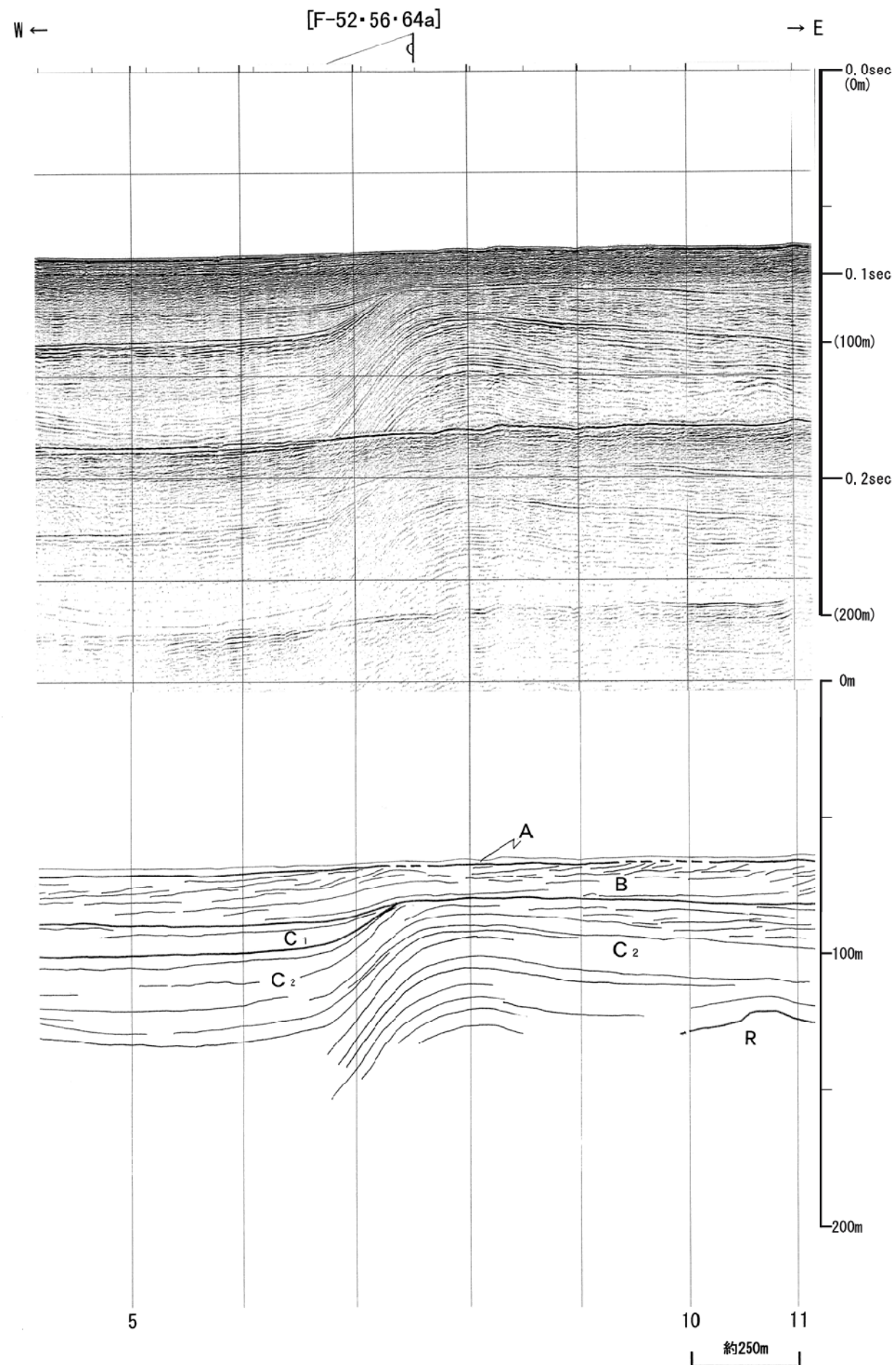
第1. 4. 104図(9) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NGGM1)



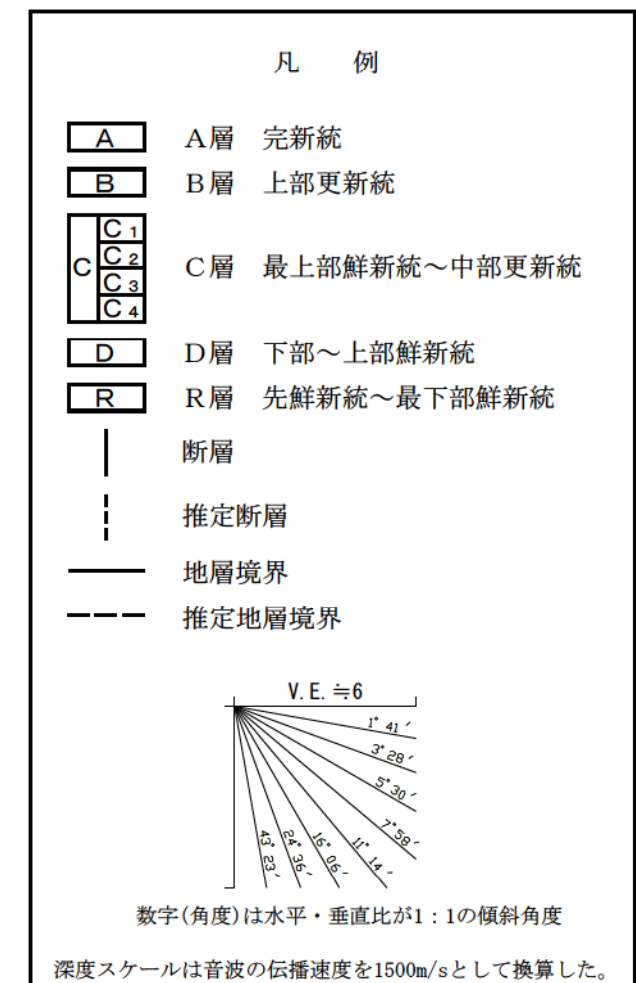
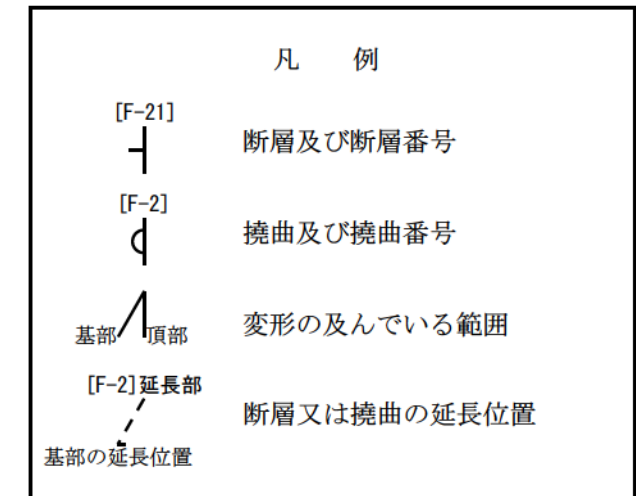
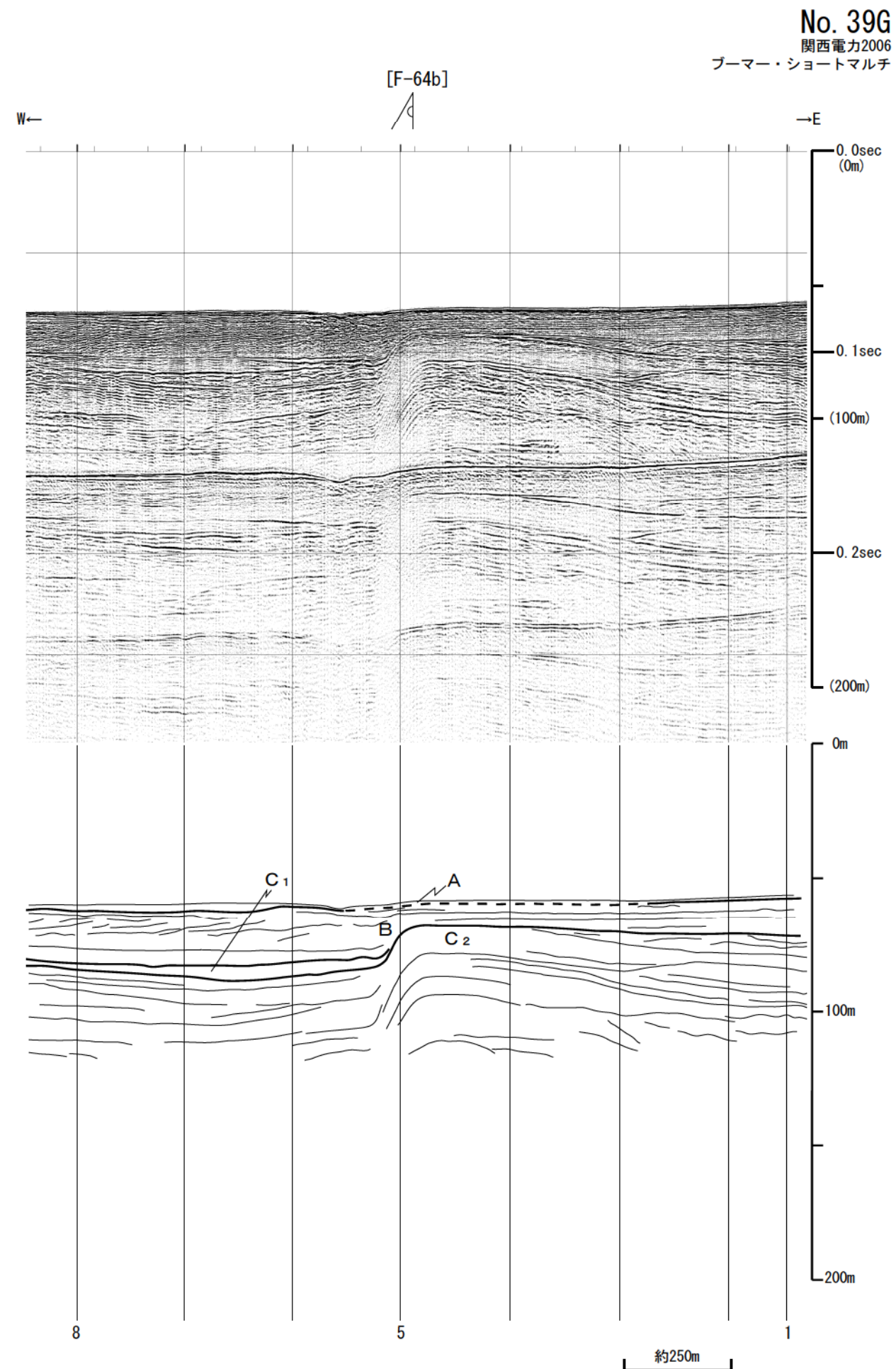
第1. 4. 104図(10) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NGGM3-1)



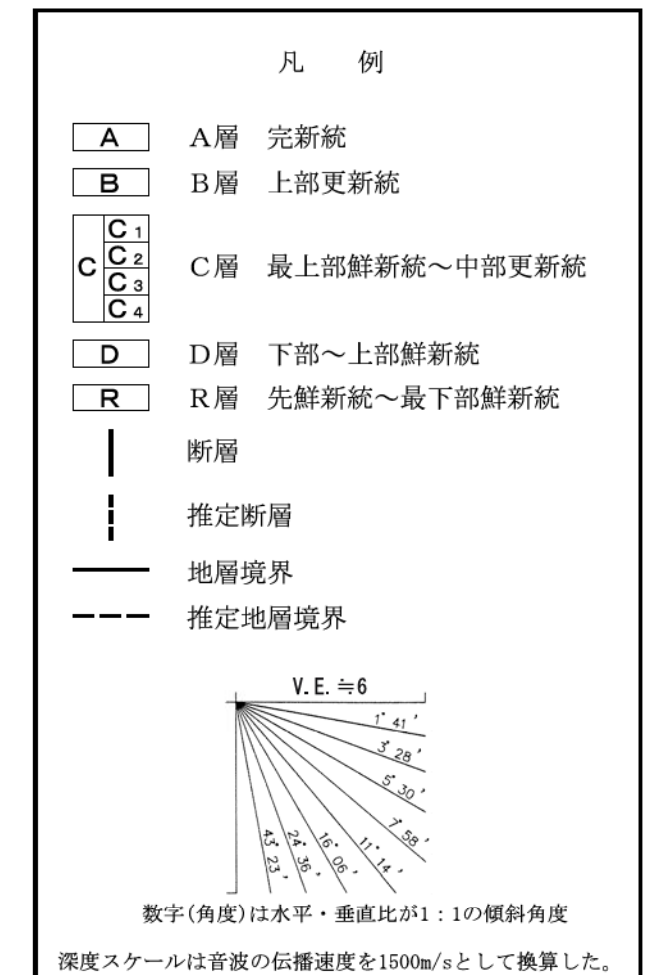
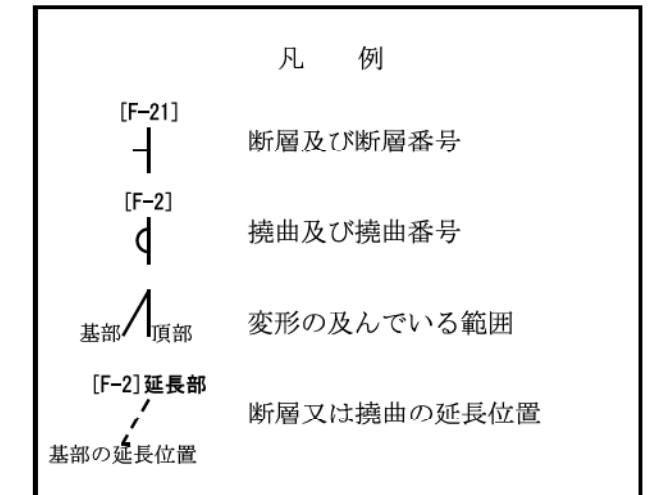
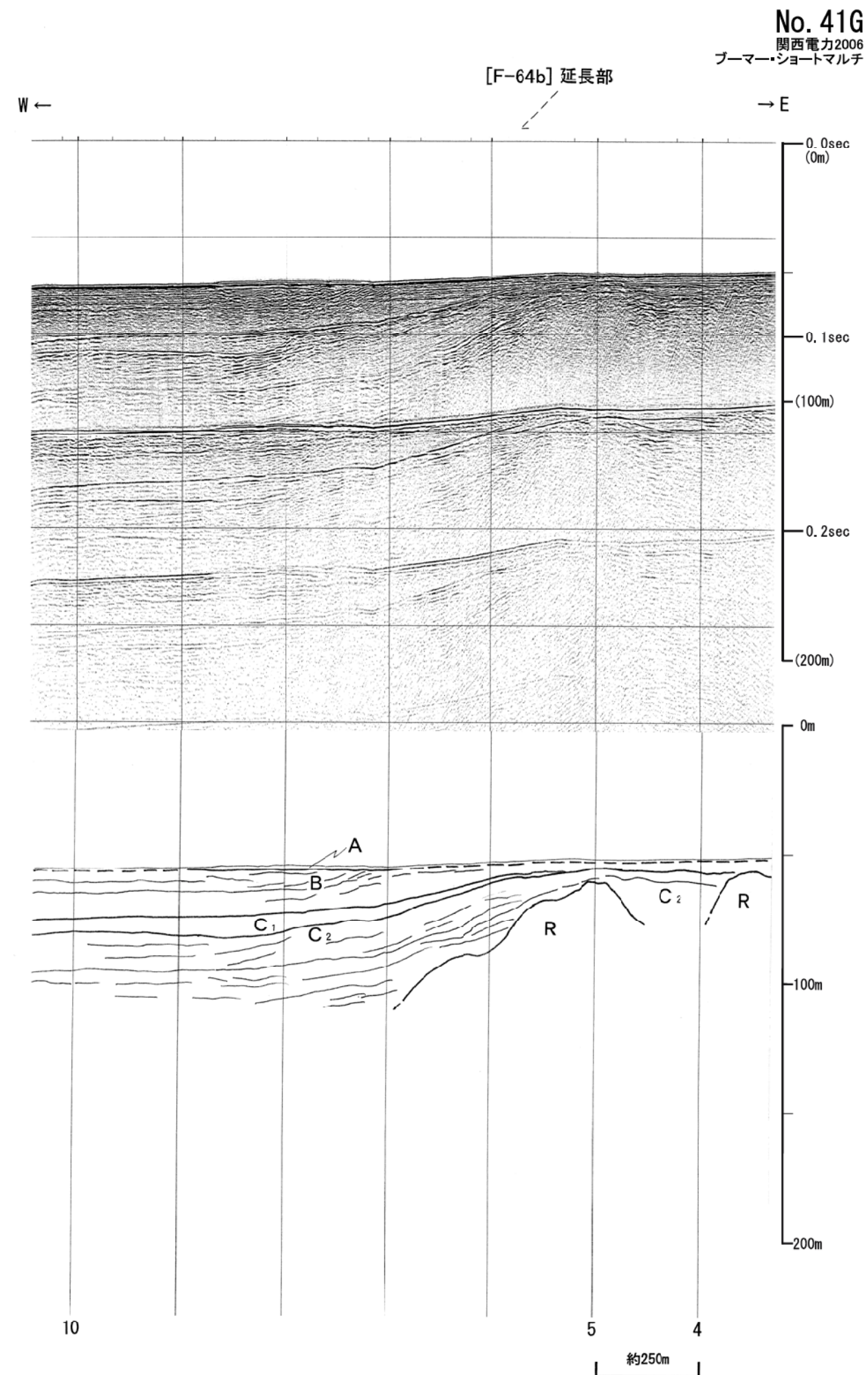
第1. 4. 104図(11) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No. 35G)
6-1-744



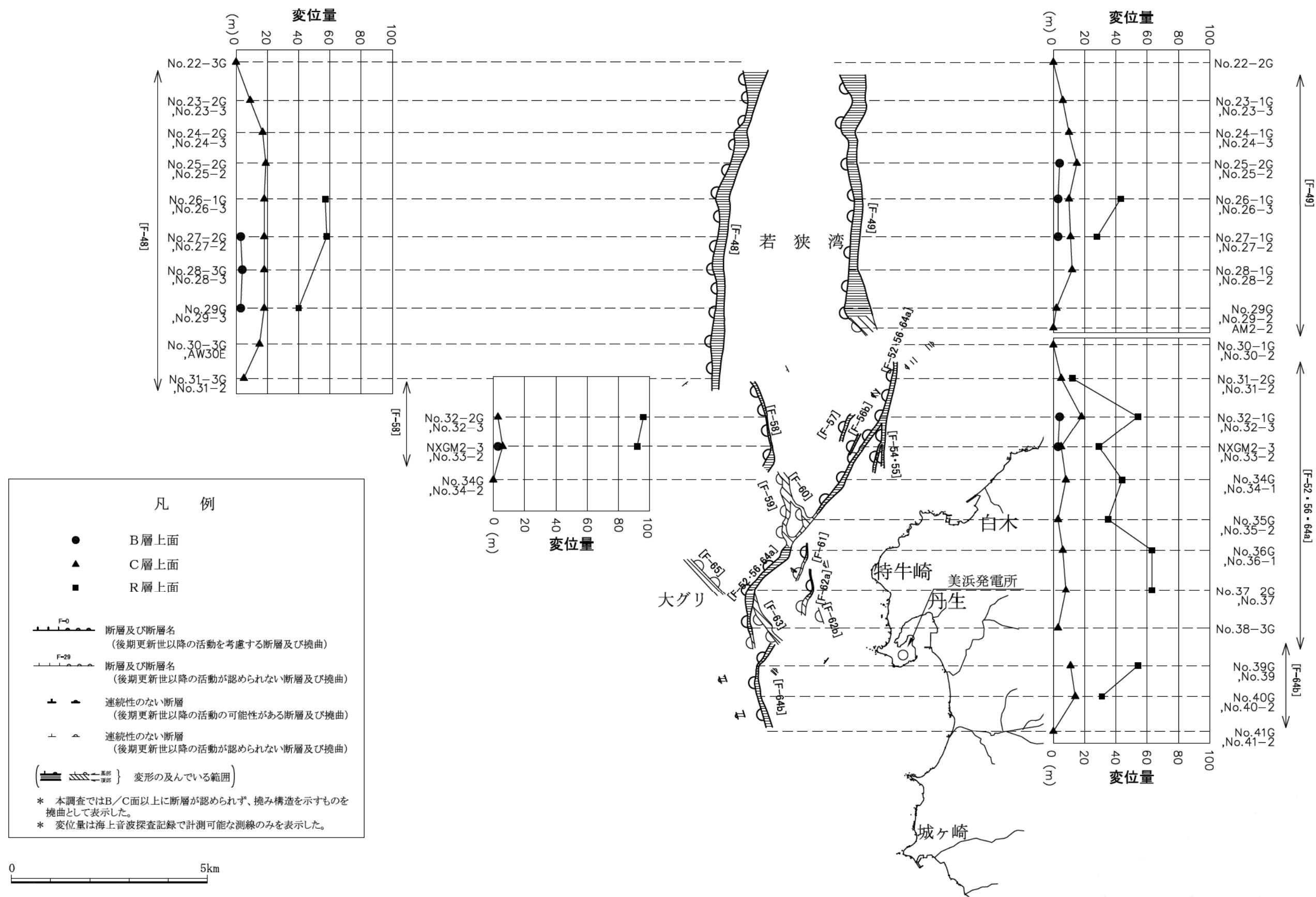
第1.4.104図(12) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No. 37-2G)
 6-1-745



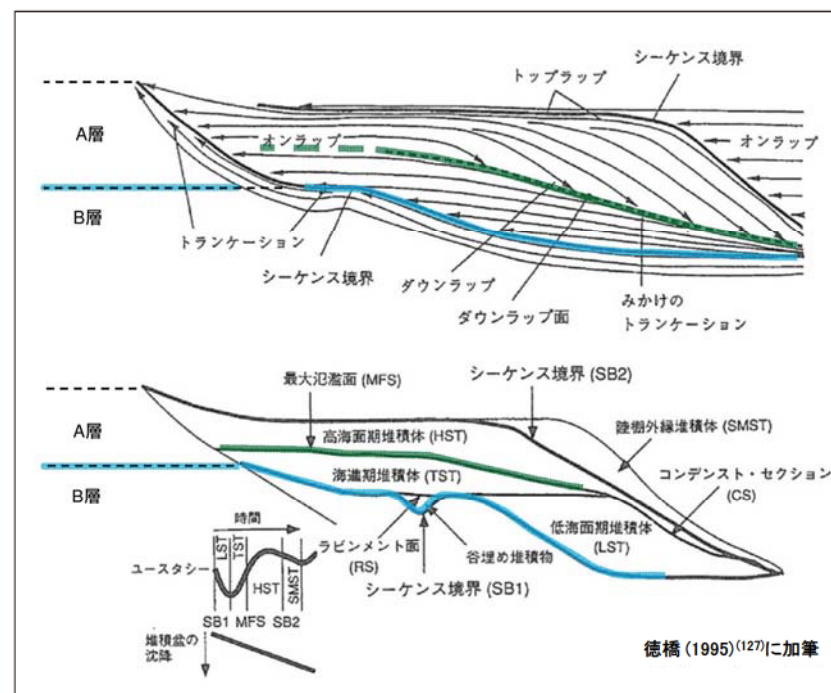
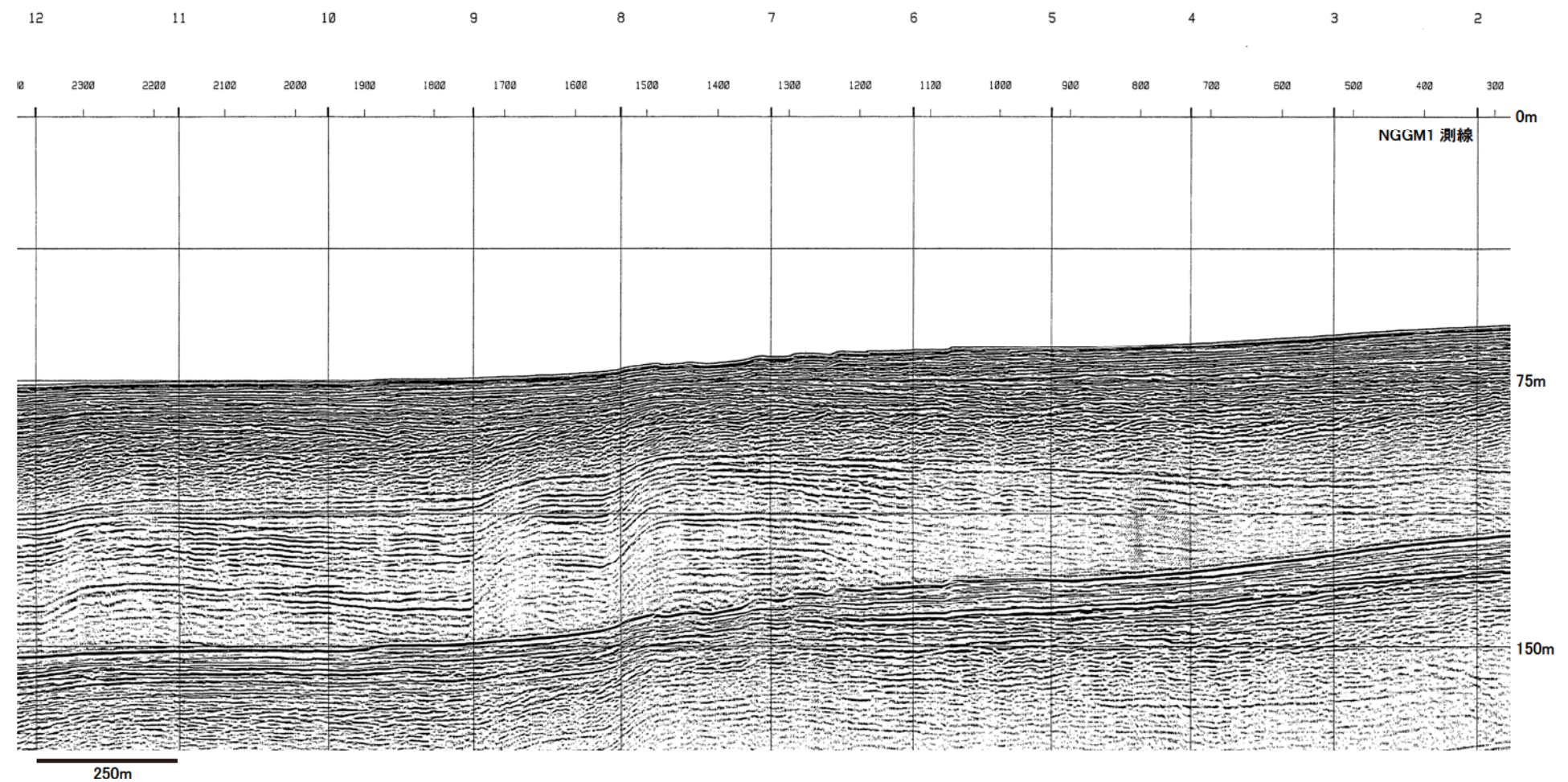
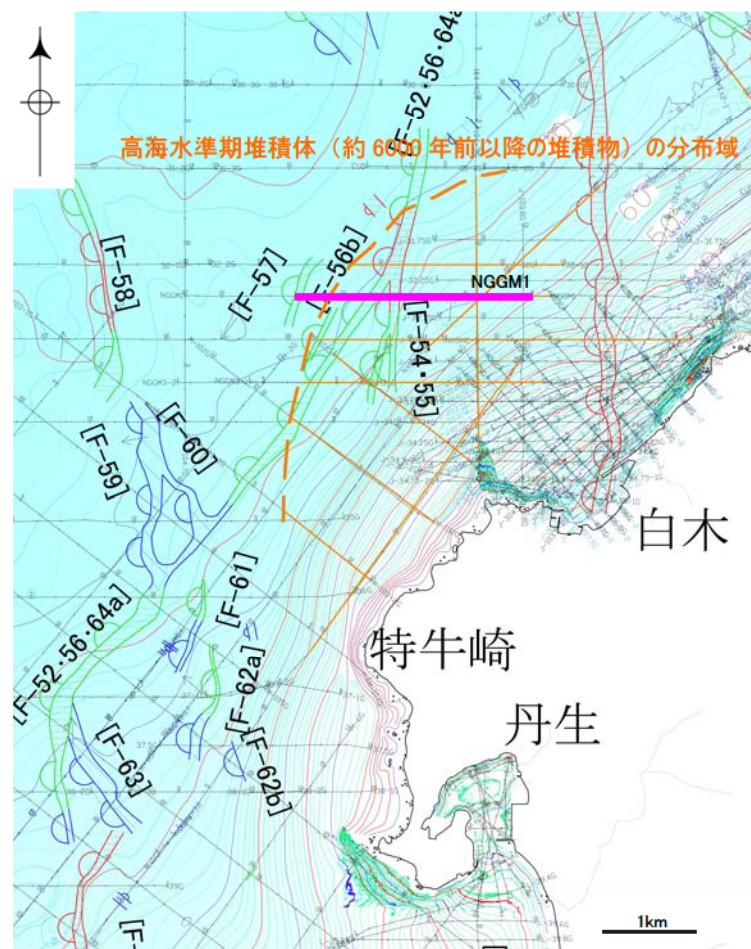
第1. 4. 104図(13) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No. 39G)



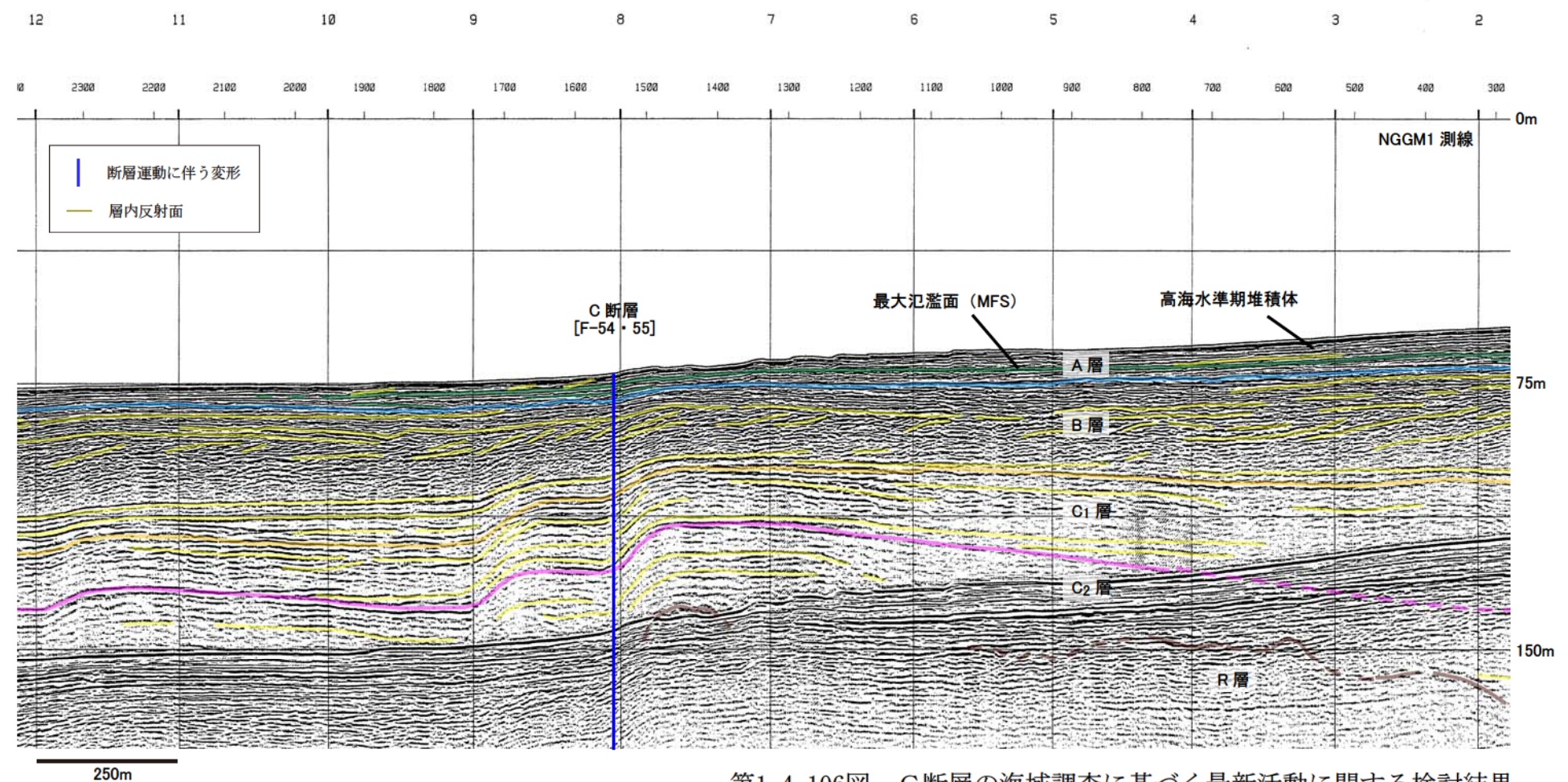
第1. 4. 104図(14) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No. 41G)
6-1-747



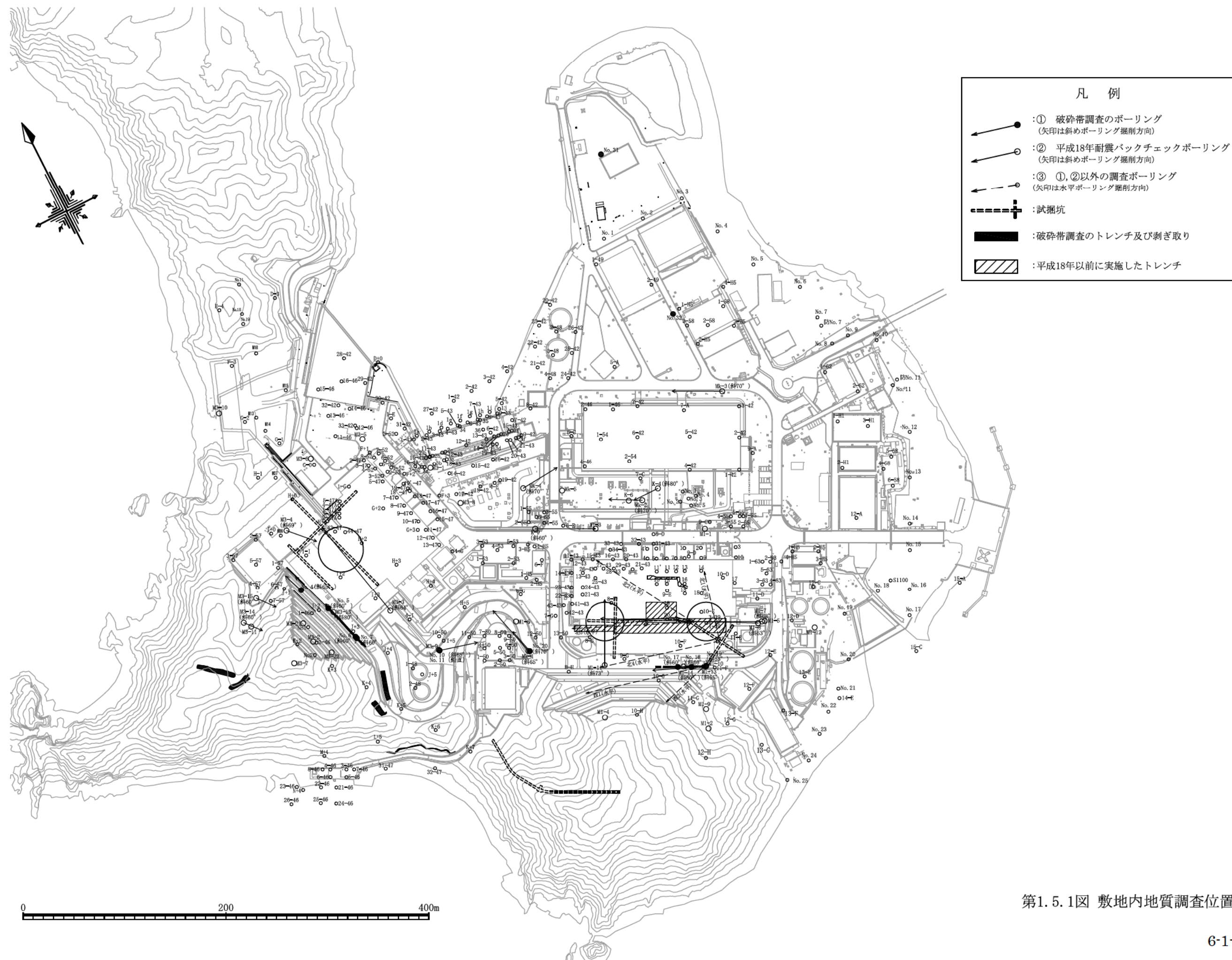
第1. 4. 105図 C断層の変位量分布図



C断層 [F-54・55] は、ダウンラップ面（最大氾濫面）及び高海水準期（約6,000年前以降）の堆積物に変形を及ぼしており、海底面にも明瞭な変形が認められる。



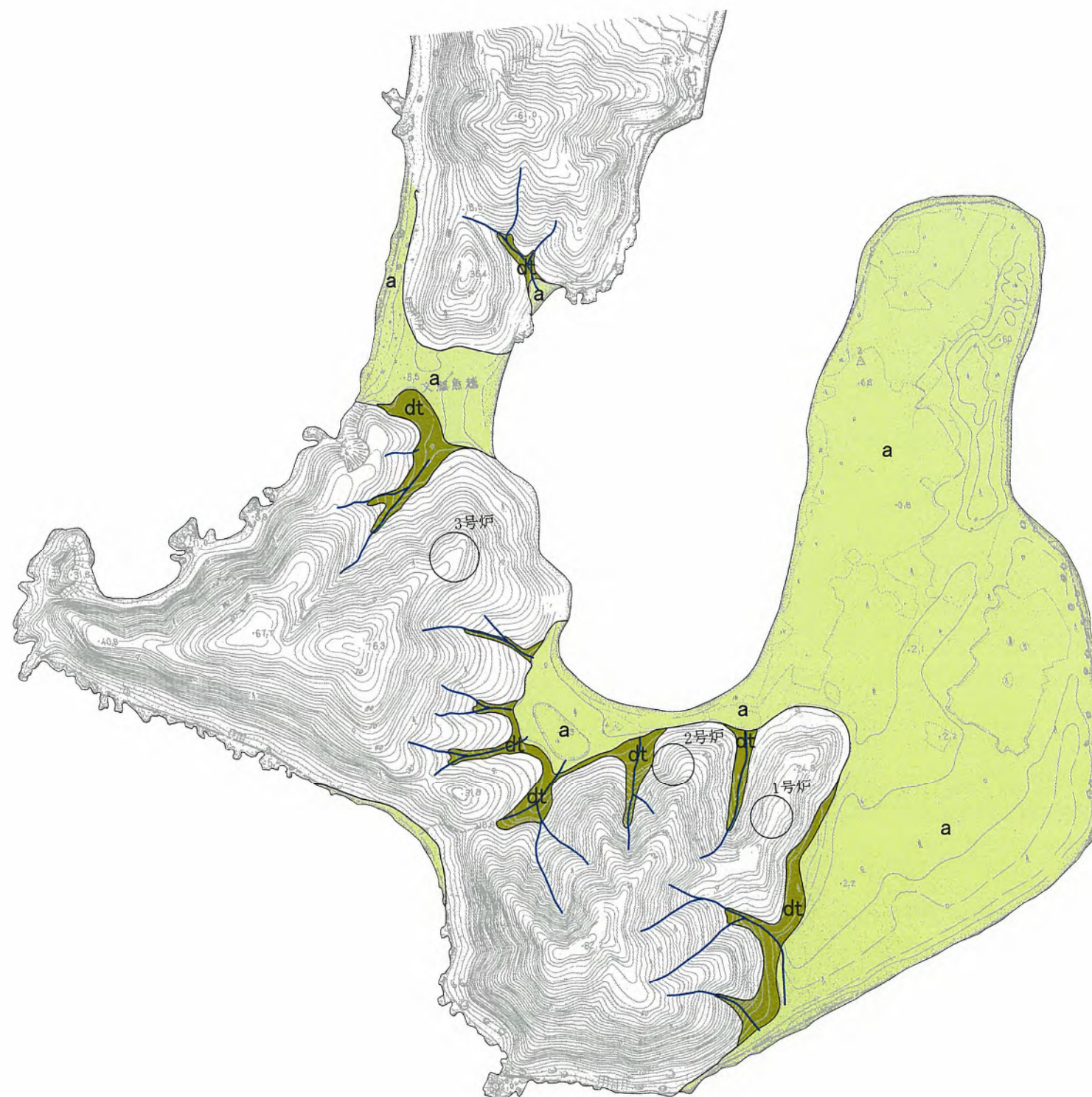
第1.4.106図 C断層の海域調査に基づく最新活動に関する検討結果



第1.5.1図 敷地内地質調査位置図



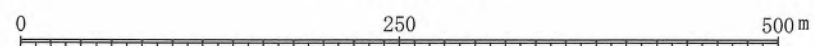
第1.5.2図 敷地の地形図



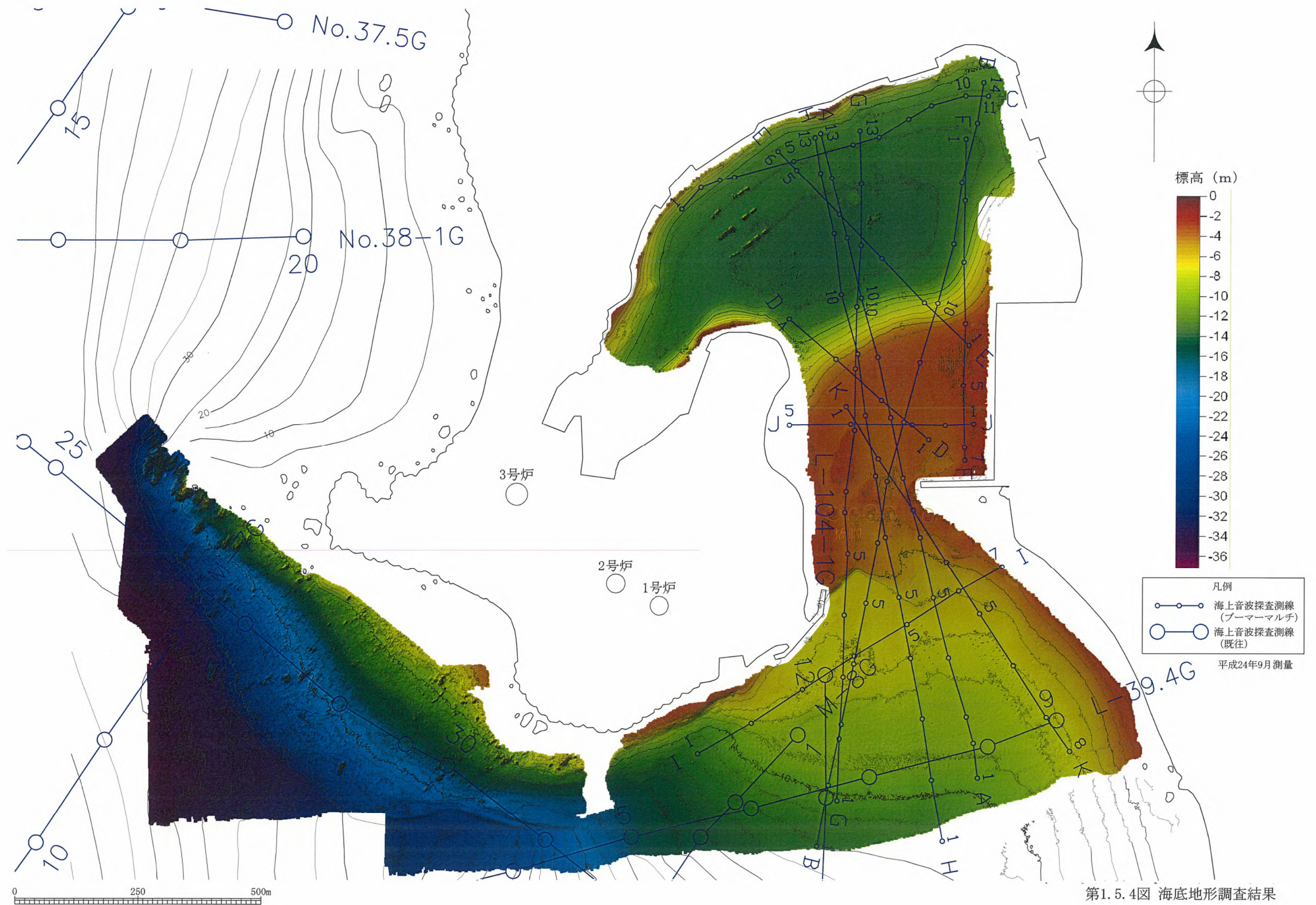
凡 例

a	沖積低地
dt	崖錐面・小扇状地面
	山地、磯浜
	水系

S=1 : 5,000



第1.5.3図 敷地の地形面区分図



第1.5.4図 海底地形調査結果
 6-1-753

凡 例						
地質年代			地層名		記号	主な岩相・層相
新 生 代	第四紀	完新世	人工改変地		r	
			沖積層		 a	礫・砂・シルト
	新第三紀	中新世	岩 脈		 Grf	ドレライト
			古第三紀			
中 生 代	白亜紀後期		江若花崗岩	細粒黒雲母花崗岩	 Grf	細粒黒雲母花崗岩
				粗粒黒雲母花崗岩	 Grc	粗粒黒雲母花崗岩 (一部中粒黒雲母花崗岩)

- 断面位置

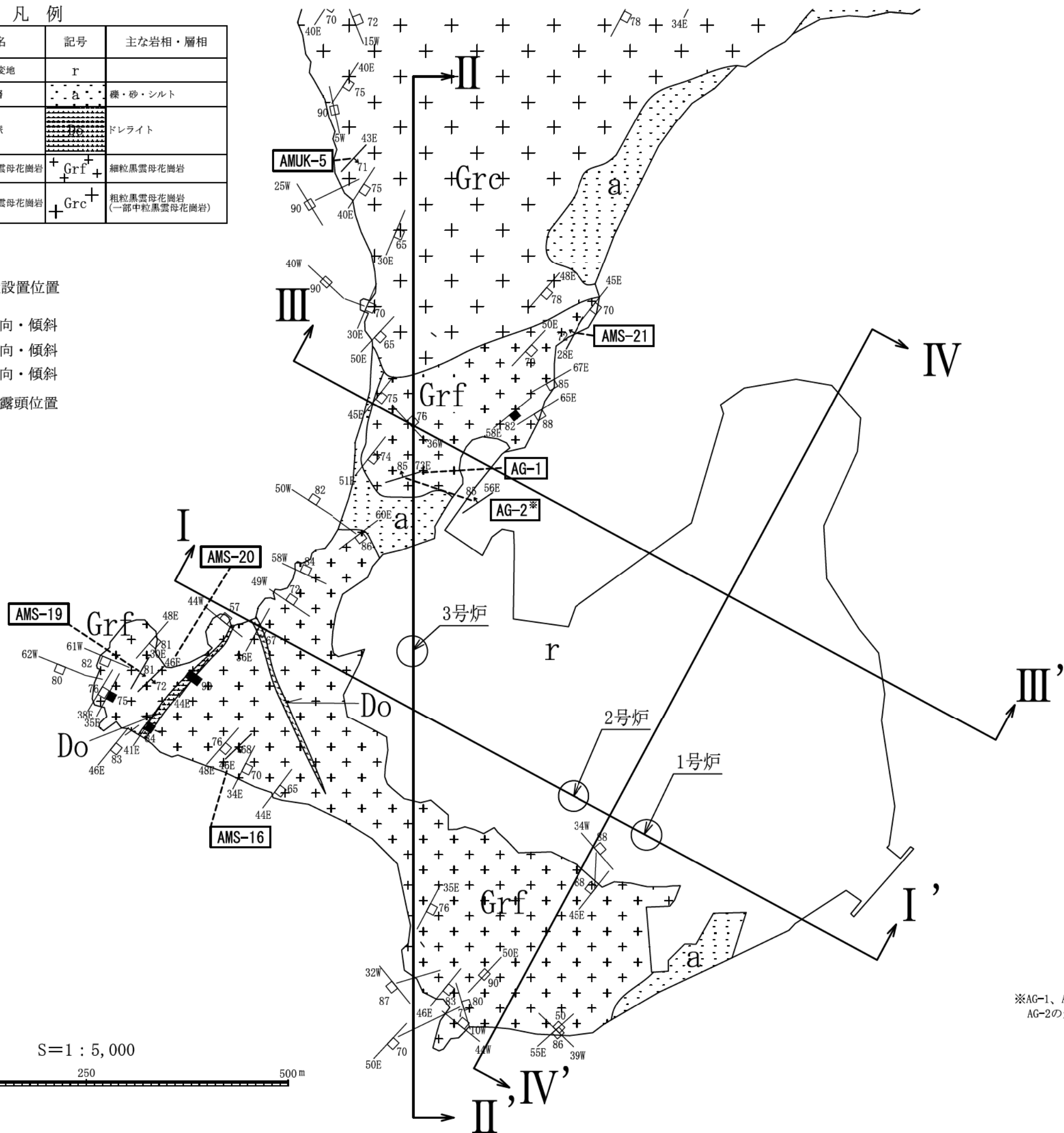
原子炉建屋設置位置

節理面の走向・傾斜

断層面の走向・傾斜

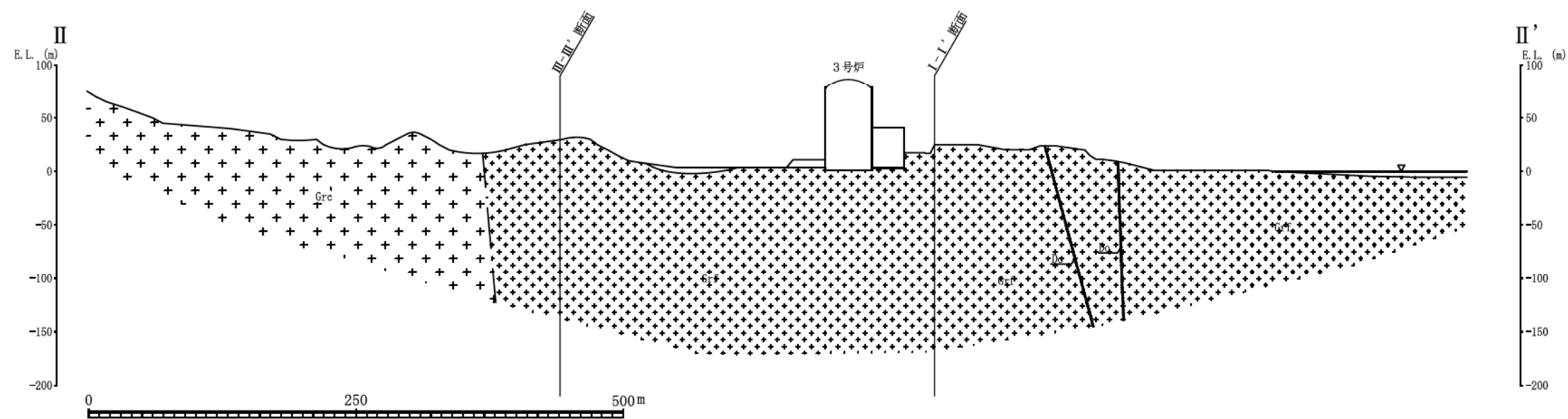
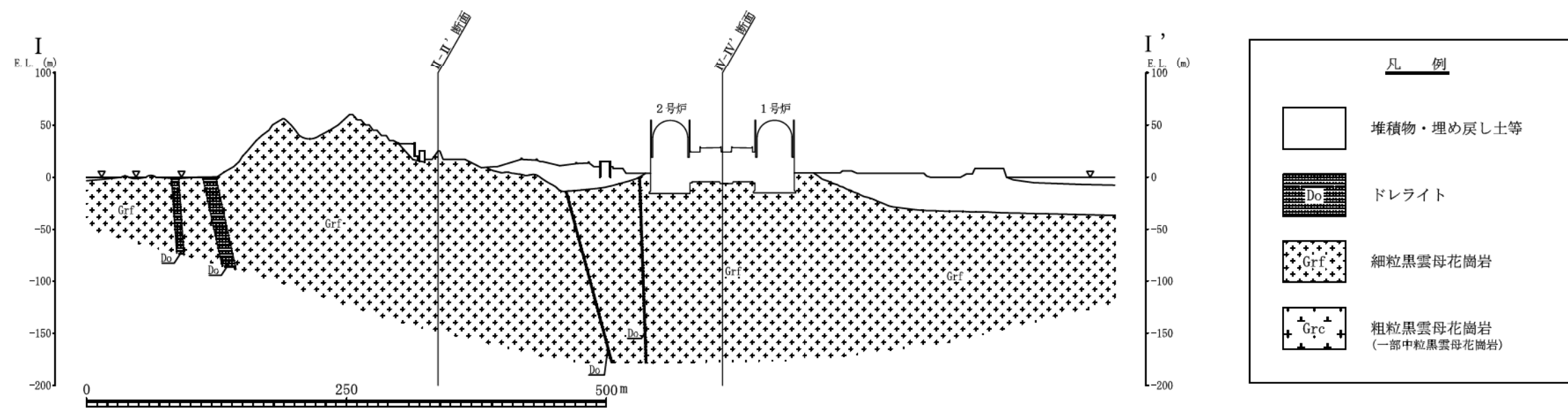
貫入面の走向・傾斜

AMS-18 破砕部確認露頭位置

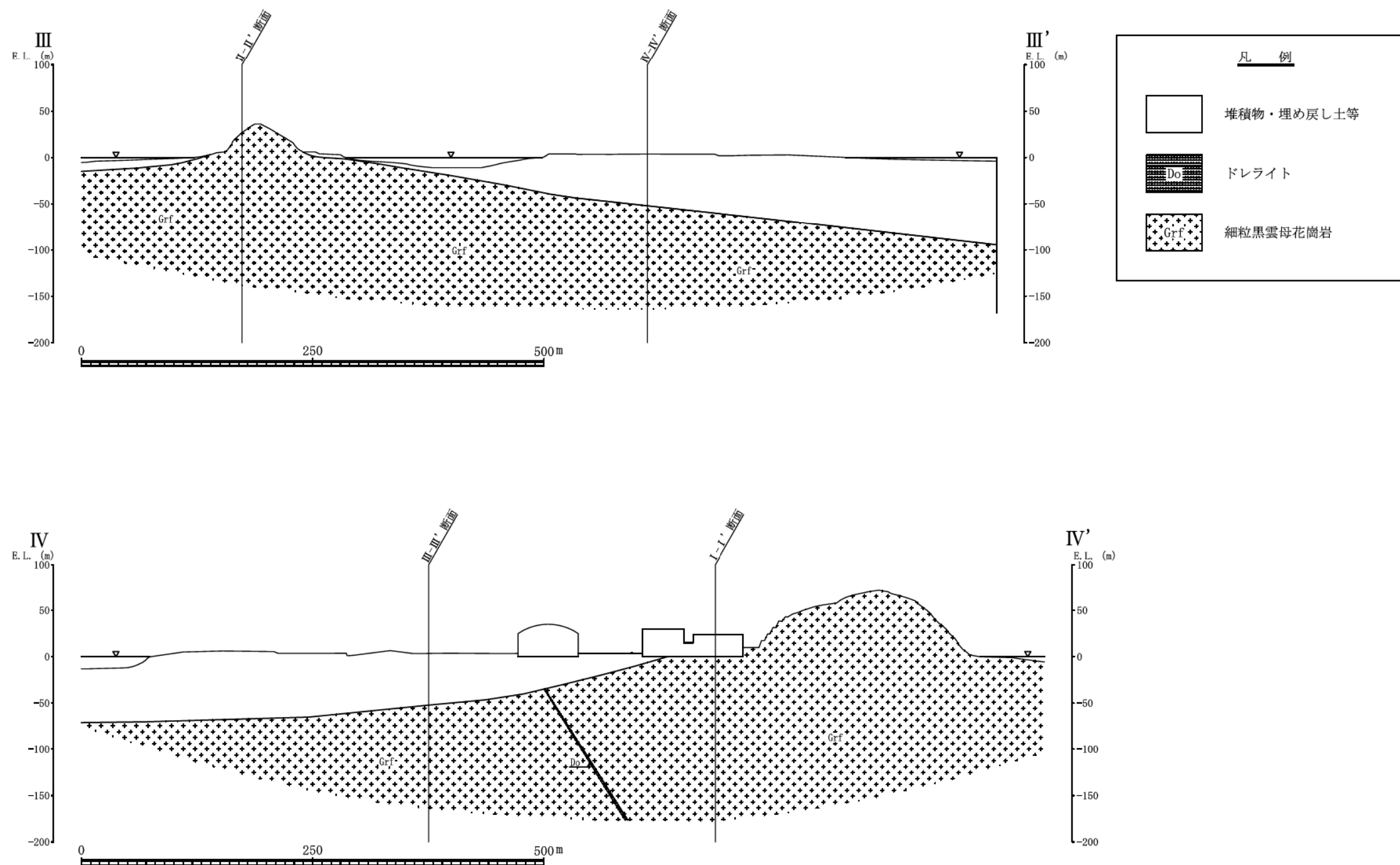


※AG-1、AG-2については、確認場所が近いことから、AG-2の走向傾斜を引き出して記載。

第1.5.5図 敷地の地質図



第1.5.6図(1) 敷地の地質断面図(1)



第1.5.6図(2) 敷地の地質断面図(2)